

人権啓発指導者養成研修会（法務省委託） ／ これまでの実績

令和元年度人権啓発指導者養成研修会・福岡会場

【期間】 2019(令和元)年11月13日(水)～11月15日(金)

【会場】 アキュ博多・6F・大研修室H0602 (〒0001 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 7-21 紙与博多中央ビル6階)

【主催】 法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 62人(事前申込者数:69人)*別途、法務局関係者15人

【研修内容】

○11月13日(水)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
大谷 洋史(法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「参加体験型学習の人権教育・啓発の体験と分析 ～法務省委託『人権啓発ワークショップ事例集』の活用に向けて～」
桜井高志(桜井・法貴グローバル教育研究所代表)

○11月14日(木)

- ・講義2:同和問題(部落差別)(9:30～11:00)
「同和問題のいま、そしてこれから ～40年間の取材活動を通して考えること～」
馬場周一郎(ジャーナリスト(元西日本新聞記者)／公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員)
- ・講義3:ハンセン病と人権(11:15～12:45)
「ハンセン病の歴史と人権 ～ハンセン病対策の歴史を正しく理解するために～」
北原誠(重監房資料館主任学芸員)
- ・講義4:東日本大震災に起因する人権問題(13:45～15:15)
「災害時の人の尊厳:誰が守るべきなのか？」
原田奈穂子(宮崎大学医学部看護学科地域精神看護学講座精神看護学分野教授)
- ・講義5:インターネットを悪用した人権侵害(15:30～17:00)
「スマホ時代の子どもたちに大人ができること」
石川千明(特定非営利活動法人奈良地域の学び推進機構理事)

○11月15日(金)

- ・講義6:効果的な啓発手法(9:30～11:00)
「あるコピーライターの伝え方」
玉山貴康(株式会社電通 クリエイティブディレクター／コピーライター)
- ・講義7:外国人と人権(11:15～12:45)
「外国人と人権」
田中宝紀(特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者)
- ・講義8:高齢者と人権(13:45～15:15)
「高齢者と人権 ～介護問題を中心に～」
津止正敏(立命館大学教授)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
山下義人(内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

令和元年度人権啓発指導者養成研修会・東京会場

【期間】 2019(令和元)年10月8日(火)～10月10日(木)

【会場】 世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター ルームA(東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル3階)

【主催】 法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 91人(事前申込者数:107人)＊別途、法務局関係者21人

【研修内容】

○10月8日(火)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
土手 敏行 (法務省人権擁護局人権啓発課課長)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「人権はなぜ擁護されるのか」
中島吉弘(桜美林大学リベラルアーツ学群 教授)

○10月9日(水)

- ・講義2:障害のある人と人権(9:30～11:00)
「障害のある人と人権 ～地方公共団体に求められる『人権』」
野澤和弘(毎日新聞論説委員)
- ・講義3:外国人と人権(11:15～12:45)
「外国人と人権」
田中宝紀(特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者)
- ・講義4:効果的な啓発手法(13:45～15:15)
「コミュニケーションから考える人権のとらえかた伝えかた」
若林源基(公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員)
- ・講義5:子どもの人権(部落差別)(15:30～17:00)
「子どもの人権救済の現場から ～いじめ・虐待・少年非行～」
坪井節子(弁護士／社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長)

○10月10日(木)

- ・講義6:刑を終えて出所した人と人権(9:30～11:00)
「アンガーマネジメント ～対応が難しい人に巻き込まれないために～」
本田恵子(早稲田大学教育学部教授)
- ・講義7:女性と人権(11:15～12:45)
「女性の人権」
江原由美子(横浜国立大学大学院都市イノベーション学府・研究院教授/一般社団法人神奈川人権センター理事長)
- ・講義8:効果的な啓発手法(13:45～15:15)
「断らない相談とは ～つながることは生きること～」
奥田知志(特定非営利活動法人抱樸理事長/日本バプテスト連盟東八幡キリスト協会牧師)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
齊藤 照(内閣官房拉致問題対策本部事務局主査)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

令和元年度人権啓発指導者養成研修会・大阪会場

【期間】 2019(令和元)年9月10日(火)～9月12日(木)

【会場】 コロナホテル・2F・200BCD(大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21)

【主催】 法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 121人(事前申込者数:150人)＊別途、法務局関係者11人

【研修内容】

○9月10日(火)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
大谷 洋史(法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「基礎から学ぶ男女共同参画 ワールド・カフェin大阪」
萩原なつ子(立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授／認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事)

○9月11日(水)

- ・講義2:アイヌの人びとと人権(9:30～11:00)
「アイヌの人びとと人権」
本田優子(札幌大学教授、札幌大学ウレシバクラブ代表理事)
- ・講義3:インターネットによる人権侵害(11:15～12:45)
「スマホ時代の子どもたちに大人ができること」
石川千明(特定非営利活動法人奈良地域の学び推進機構理事)
- ・講義4:同和問題(部落差別)(13:45～15:15)
「これからの人権教育・啓発の課題 ～部落問題をどう語り、伝えるのか～」
石元清英(関西大学名誉教授)
- ・講義5:犯罪被害者等の人権(15:30～17:00)
「犯罪被害を受けた人の人権のために ～加害者・被害者の対立を超えて(少年事件を中心に)」
多田元(弁護士／愛知県弁護士会子どもの権利委員会委員／全国不登校新聞社代表理事／子どもセンターパオ代表理事)

○9月12日(木)

- ・講義6:性的指向・性自認(9:30～11:00)
「はじめてのLGBT ～職場でのダイバーシティを考える～」
杉山文野(株式会社ニューキャンバス代表取締役)
- ・講義7:効果的な啓発手法
「コミュニケーションから考える人権の伝えかた伝えかた」
若林源基(公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員)
- ・講義8:外国人と人権(13:45～15:15)
「外国人と人権」
田中宝紀(特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
小林 仁 (内閣官房拉致問題対策本部事務局 参事官補佐)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2018(平成30)年11月6日(火)～11月8日(木)

【会場】アクロス福岡・7F・大会議室(〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1)

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 78人(事前申込者数:83人)＊別途、法務局関係者4人

【研修内容】

○11月6日(火)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
中村 誠(法務省人権擁護局人権啓発課長)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「人権とジェンダー ～一人ひとりが自分らしく生きるために～」
萩原 なつ子 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授・認定特定非営利活動法人日本 NPO センター代表理事)

○11月7日(水)

- ・講義2:HIV／エイズと人権(9:30～11:00)
「HIV／エイズと人権、暮らし」
生島 嗣 (特定非営利活動法人ぶれいす東京代表)
- ・講義3:外国人と人権(11:15～12:45)
「海外にルーツを持つ子ども・生活者 ～現状と課題～」
田中 宝紀 (特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人子弟支援事業部事業責任者・統括コーディネーター)
- ・講義4:刑を終えて出所した人と人権(13:45～15:15)
「罪を犯した障がい者・高齢者等の人権を守る 活動の現状と課題」
田島 良昭 (一般社団法人全国地域生活定着支援センター協議会顧問・社会福祉法人南高愛隣会顧問)
- ・講義5:高齢者と人権(15:30～17:00)
「高齢者虐待の現状と防止のために出来ること」
山口 光治 (淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授・副学長)

○11月8日(木)

- ・講義6:啓発方法論(9:30～11:00)
「コミュニケーションから考える効果的な人権啓発」
若林源基 (公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員)
- ・講義7:同和問題(部落差別)(11:15～12:45)
「同和問題の今、そしてこれから ～解決への課題と展望～」
馬場 周一郎 (ジャーナリスト(元西日本新聞記者)・(公財)人権教育啓発推進センター上級特別研究員)
- ・講義8:インターネットを悪用した人権侵害(13:45～15:15)
「インターネットを悪用した人権侵害 ～被害者にも加害者にもならない努力～」
佐藤 佳弘 (株式会社情報文化総合研究所代表取締役)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
砂原 龍夫 (内閣官房拉致問題対策本部事務局 参事官補佐)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2018(平成30)年10月17日(水)～10月19日(金)

【会場】世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター ルームA(東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル3階)

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】96人(事前申込者数:107人)*別途、法務局関係者11人

【研修内容】

○10月17日(水)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
川野 麻衣子 (法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「参加体験型の手法を使った人権教育・啓発の体験と分析 ～法務省委託「人権啓発ワークショップ事例集」の活用にむけて～」
桜井 高志 (桜井・法貴グローバル教育研究所代表)

○10月18日(木)

- ・講義2:人身取引(9:30～11:00)
「人身取引と人権 ～権利アプローチとは?～」
甲斐田 万智子 (文京学院大学外国語学部教授)
- ・講義3:アイヌの人びとの人権(11:15～12:45)
「アイヌ民族・先住民族の教育と人権」
前田 耕司 (早稲田大学大学院教育学研究科教授)
- ・講義4:外国人と人権(13:45～15:15)
「海外にルーツを持つ子ども・生活者 ～現状と課題～」
田中 宝紀 (特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者)
- ・講義5:同和問題(部落差別)(15:30～17:00)
「同和問題の今、そしてこれから ～解決への課題と展望～」
馬場 周一郎 (ジャーナリスト(元西日本新聞記者)・(公財)人権教育啓発推進センター上級特別研究員)

○10月19日(金)

- ・講義6:震災と人権(9:30～11:00)
「原発事故災害にみる周囲の『不理解』に着目して」
佐藤 彰彦 (高崎経済大学地域政策学部教授)
- ・講義7:女性と人権(11:15～12:45)
「女性活躍・ダイバーシティ」
大沢 真知子 (日本女子大学教授・現代女性キャリア研究所所長)
- ・講義8:効果的な啓発手法(13:45～15:15)
「人権教育における効果的な啓発手法 ～教育から学習へのパラダイム転換の試み～」
中島 吉弘 (桜美林大学リベラルアーツ学群教授)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
大和田 歩(内閣官房拉致問題対策本部事務局主査)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2018(平成30)年9月12日(水)～9月14日(金)

【会場】メルパルク京都・6F・会議室C(貴船)(京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13)

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】127人(事前申込者数:151人)*別途、法務局関係者15人

【研修内容】

○9月12日(水)

- ・受付(11:00～11:15)
- ・オリエンテーション・開講式(11:15～11:30)
- ・法務省行政説明(11:30～12:30)
川野 麻衣子 (法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官)
- ・講義1:ワークショップ(13:30～16:45)
「多文化共生と人権 ～ひょうたん島ワークショップを通して～」
藤原 孝章 (同志社女子大学現代社会学部現代こども学科特任教授)

○9月13日(木)

- ・講義2:啓発方法論(9:30～11:00)
「あるコピーライターの伝え方」
玉山 貴康 (株式会社電通クリエイティブディレクター、コピーライター)
- ・講義3:性の多様性と人権(11:15～12:45)
「LGBTは『いない』のではなく『見えていない』だけ ～行政における取組推進の視点～」
永田 龍太郎 (渋谷区総務部男女平等ダイバーシティ担当課長)
- ・講義4:障害者と人権(13:45～15:15)
「障害者と人権 ～障害者に対する差別問題を中心に～」
東 俊裕 (弁護士／熊本学園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授)
- ・講義5:子どもの人権(15:30～17:00)
「子どもの人権 ～子どもの視点から考える いじめ・不登校・非行・虐待～」
多田 元 (弁護士／愛知県弁護士会子どもの権利特別委員会委員／全国不登校新聞社代表理事／
特定非営利活動法人子どもセンターパオ代表理事)

○9月14日(金)

- ・講義6:生活困窮者と人権(9:30～11:00)
「生活保護への差別と管理社会」
生田 武志 (文芸評論家／野宿者ネットワーク 代表／「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」 代表理事)
- ・講義7:外国人と人権
「海外にルーツを持つ子ども・生活者 ～現状と課題～」
田中 宝紀 (特定非営利活動法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者))
- ・講義8:同和問題(部落差別)(13:45～15:15)
「現代の部落差別 ～京都・弥栄中を取材して～」
林 由紀子 (毎日新聞社大阪本社編集局社会部 記者)
- ・行政説明(15:30～16:30)
「北朝鮮による日本人拉致問題」
小林 仁 (内閣官房拉致問題対策本部事務局 参事官補佐)
- ・閉講式(16:30～16:40)

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2017（平成29）年11月7日（火）～11月9日（木）

【会場】TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前「ホール4 A」
（広島県広島市南区大須賀町13-9 ベルヴェオフィス広島 4 F）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 53人（事前申込者数：59人）＊別途、法務局関係者18人

【研修内容】

○11月7日（火）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
中村 誠（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型の人権教育・啓発の体験と分析
～法務省委託「人権啓発ワークショップ事例集」の活用にむけて」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

○11月8日（水）

- ・講義2：外国人の人権（9：30～11：00）
「外国籍児童・生徒たちの教育 ～子どもたちの人権～」
竹沢 泰子（京都大学人文科学研究所教授）
- ・講義3：東日本大震災に起因する人権問題（11：15～12：45）
「東日本大震災と女性の人権」
木須 八重子（公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長）
- ・講義4：インターネットによる人権侵害（13：45～15：15）
「インターネットと人権」
吉富 康成（京都府立大学 大学院 生命環境科学研究科情報伝達システム学研究
室教授）
- ・講義5：同和問題と人権（15：30～17：00）
「部落差別をこえて ～取材ノートから～」
臼井 敏男（元朝日新聞論説委員）

○11月9日（木）

- ・講義6：啓発方法論（9：30～11：00）
「あるコピーライターの伝え方」
玉山 貴康（株式会社電通クリエイティブディレクター・コピーライター）
- ・講義7：障がいのある人と人権（11：15～12：45）
「障がいのある人と人権 ～障害平等研修を通じた障害者差別解消法の推進～」
久野 研二（国際協力機構（JICA）・国際協力専門員 特定非営利活動法人障害平等フォーラム代表理事）
- ・講義8：ハンセン病と人権（13：45～15：15）
「ハンセン病の歴史と人権 ～ハンセン病対策の歴史を正しく理解するために～」
北原 誠（重監房資料館主任学芸員）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
郷路 健二（内閣官房拉致問題対策本部事務局 参事官補佐）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2017（平成29）年10月25日（水）～10月27日（金）

【会場】世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター ルームA
（東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル3階）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 108人（事前申込者数：119人）＊別途、法務局関係者7人

【研修内容】

○10月25日（水）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
中村 誠（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型学習の人権教育・啓発の体験と分析
～法務省委託『人権啓発ワークショップ事例集』の活用にむけて」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

○10月26日（木）

- ・講義2：刑を終えて出所した人の人権（9：30～11：00）
「感情のコントロールが困難な人へのアンガーマネジメント～再犯防止のために～」
本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
- ・講義3：女性の人権（11：15～12：45）
「女性の人権」
江原 由美子（横浜国立大学大学院都市イノベーション学府・研究院教授、一般社団法人神奈川人権センター理事長）
- ・講義4：同和問題と人権（13：45～15：15）
「同和行政の歴史と部落差別解消推進法」
灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義5：性の多様性と人権（15：30～17：00）
「『性の多様性』と人権教育の課題」
渡辺 大輔（埼玉大学教育機構基盤教育研究センター准教授）

○10月27日（金）

- ・講義6：人身取引（9：30～11：00）
「『芸能人・モデルにならない？』と言われて一実は身近にある人身取引被害について」
藤原 志帆子（特定非営利活動法人人身取引被害者サポートセンター ライトハウス代表）
- ・講義7：啓発方法論（11：15～12：45）
「あるコピーライターの伝え方」
玉山 貴康（株式会社電通クリエイティブディレクター・コピーライター）
- ・講義8：外国人の人権（13：45～15：15）
「外国人の人権～多文化共生社会の実現をめざして～」
坂元 茂樹（同志社大学法学部教授・公益財団法人世界人権問題研究センター所長）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
斉藤 康弘（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室企画官）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2017（平成29）年9月5日（火）～9月7日（木）

【会場】ナレッジキャピタル カンファレンスタワーC 「RoomC01+02」
（大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 8F）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 108人（事前申込者数：119人）＊別途、法務局関係者7人

【研修内容】

○9月5日（火）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
中村 誠（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「ワールドカフェin大阪 ～ホッパで語り合おう！！ 男女共同参画」
萩原 なつ子（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授）

○9月6日（水）

- ・講義2：同和問題と人権（9：30～11：00）
「同和行政の歴史と部落差別解消推進法」
灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義3：アイヌの人々と人権（11：15～12：45）
「アイヌの人びとの生活・意識の現状と課題」
小内 透（北海道大学大学院教育学研究院院長・教育学院長・教育学部長・アイヌ先住民研究センター兼務）
- ・講義4：ホームレスの人々と人権（13：45～15：15）
「いのちの分断される時代に～生活困窮者支援の現場から～」
奥田 知志（特定非営利活動法人抱樸理事長）
- ・講義5：啓発方法論（15：30～17：00）
「あるコピーライターの伝え方」
玉山 貴康（株式会社電通クリエイティブディレクター・コピーライター）

○9月7日（木）

- ・講義6：子どもと人権（9：30～11：00）
「子どもの人権～「守るもの」「育くむもの」の観点から～」
ト田 真一郎（常磐会短期大学幼児教育科教授）
- ・講義7：外国人と人権
「外国人の人権～多文化共生社会の実現をめざして～」
坂元 茂樹（同志社大学法学部教授・公益財団法人人権問題研究センター所長）
- ・講義8：高齢者と人権（13：45～15：15）
「高齢者の人権保障・権利擁護の視座」
山本 克司（修文大学健康栄養学部教授）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
佐藤 良行（内閣官房拉致問題対策本部政策企画室主査）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】平成28年11月16日（水）～11月18日（金）

【会場】アクア博多3F A会議室（福岡県福岡市 博多区中洲5-3-8）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】43人（事前申込者数：53人）＊別途、法務局関係者5人

【研修内容】

○11月16日（水）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
井川 良（法務省人権擁護局人権啓発課補佐官）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型の人権教育・啓発の体験と分析
～法務省委託「人権啓発ワークショップ事例集」の活用に向けて」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

○11月17日（木）

- ・講義2：外国人の人権（9：30～11：00）
「外国人の人権」
宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授）
- ・講義3：高齢者の人権（11：15～12：45）
「高齢者の人権」
高橋紘士（一般財団法人高齢者住宅財団 理事長）
- ・講義4：刑を終えて出所した人・犯罪被害者等の人権（13：45～15：15）
「被害者をめぐり被害回復と加害者の更生」
山田 由紀子（NPO法人対話の会理事長・弁護士）
- ・講義5：啓発方法論（15：30～17：00）
「コミュニケーションから考える人権のとらえかた伝えかた」
若林 源基（公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員）

○11月18日（金）

- ・講義6：障害のある人の人権（9：30～11：00）
「ユニバーサルデザインが拓く日本の未来」
関根 千佳（株式会社ユーディット 会長兼シニアフェロー、同志社大学政策学部 教授）
- ・講義7：東日本大震災に起因する人権問題（11：15～12：45）
「震災と人権」
岩室紳也（ヘルスプロモーション推進センター 代表）
- ・講義8：女性の人権（13：45～15：15）
「女性差別撤廃条約と日本」
近江 美穂（長崎大学多文化社会学部 准教授）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
郷路 健二（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】平成28年10月26日（水）～10月28日（金）

【会場】WTCコンファレンスセンター RoomA（東京都港区浜松町2-4-1 3階）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 81人（事前申込者数：96人）＊別途、法務局関係者29人

【研修内容】

○10月26日（水）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
大手 昭宏（法務省人権擁護局人権擁護調査官）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型の人権教育・啓発の体験と分析
～法務省委託「人権啓発ワークショップ事例集」の活用に向けて」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

○10月27日（木）

- ・講義2：外国人の人権（9：30～11：00）
「外国人の人権」
宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授）
- ・講義3：性的指向（11：15～12：45）
「性（性的指向・性自認）の多様性 ～性的マイノリティの自殺予防に向けて～」
荘島 幸子（帝京平成大学健康メディカル学部臨床心理学科臨床心理士）
- ・講義4：刑を終えて出所した人・犯罪被害者等の人権（13：45～15：15）
「被害者をめぐり被害回復と加害者の更生」
山田 由紀子（NPO法人対話の会理事長・弁護士）
- ・講義5：啓発方法論（15：30～17：00）
「コミュニケーションから考える人権のとらえかた伝えかた」
若林 源基（公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員）

○10月28日（金）

- ・講義6：障害のある人の人権（9：30～11：00）
「障がいのある人の人権を考える 障害者福祉の動向」
小澤 温（筑波大学大学院教授）
- ・講義7：HIV／AIDS（11：15～12：45）
「HIV／AIDSの理解とHIV陽性者への支援」
清水 茂徳（ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP）代表）
- ・講義8：インターネットによる人権侵害（13：45～15：15）
「インターネットによる人権侵害」
竹内 和雄（兵庫県立大学環境人間学部 准教授）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
中間 弘（内閣官房拉致問題対策本部事務局企画官）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】平成28年9月28日（水）～9月30日（金）

【会場】新大阪丸ビル別館（大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18-22）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】109人（事前申込者数：120人）＊別途、法務局関係者19人

【研修内容】

○9月28日（水）

- ・受付（11：00～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
関谷 敦子（法務省人権擁護局人権啓発課法務専門官）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型の人権教育・啓発の体験と分析
～法務省委託「人権啓発ワークショップ事例集」の活用にあわせて」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

○9月29日（木）

- ・講義2：性的マイノリティの人たちの人権（9：30～11：00）
「性同一性障害を取り巻く社会的課題」
中塚 幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）
- ・講義3：同和問題（11：15～12：45）
「部落問題の今 近現代の歴史をたどりながら」
黒川 みどり（静岡大学学術院教育学領域・社会科教育系列 大学院教育学研究科教科開発学専攻教授）
- ・講義4：啓発方法論（13：45～15：15）
「コミュニケーションから考える人権のとらえかた伝えかた」
若林 源基（公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員）
- ・講義5：障がいのある人と人権（15：30～17：00）
「障害者差別解消法 誰にも優しい社会へ」
秦 政（特定非営利活動法人 障がい者就業・雇用支援センター理事長）

○9月30日（金）

- ・講義6：外国人の人権（9：30～11：00）
「外国人の人権」
宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授）
- ・講義7：アイヌの人々の人権（11：15～12：45）
「アイヌの人びとの生活・意識の現状と課題」
小内 透（北海道大学大学院教育学研究院 教授）
- ・講義8：子どもの人権（13：45～15：15）
「子どもの権利・人権について考える」
大江 洋（岡山大学大学院教育学研究科）
- ・行政説明（15：30～16：30）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
関 新太郎（内閣官房拉致問題対策本部事務局主査）
- ・閉講式（16：30～16：40）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2015（平成27）年9月28日（月）～30日（水）

【会場】世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター 3F ルームA
（東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 68人（事前申込者数：81人）＊別途、法務局関係者10人

【研修内容】

◎9月28日（月）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
大橋光典（法務省人権擁護局人権啓発課課長）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「人権ファシリテーター基礎講座～共に生きる社会をつくるために～」
岩山 仁（特定非営利活動法人多民族共生人権教育センター理事）

◎9月29日（火）

- ・講義2：高齢者（9：15～10：45）
「低所得の高齢者の現状と住まい・生活支援」
滝脇 憲（特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会常務理事）
- ・講義3：震災と人権（11：00～12：30）
「福島子どもたちへの支援を通して」
本多 環（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）
- ・講義4：外国人（13：30～15：00）
「外国人の人権を守るために―地域コミュニティの再生と外国人政策の改革―」
井口 泰（関西学院大学教授）
- ・講義5：障がいのある人（15：15～16：45）
「障害者差別解消法 誰にも優しい社会へ」
野澤和弘（毎日新聞論説委員）

◎9月30日（水）

- ・講義6：インターネットと人権（9：15～10：45）
「ネット社会の危険と人権侵害」
幸島美智子（特定非営利活動法人日本子育てアドバイザー協会講師）
- ・講義7：効果的な啓発手法（11：00～12：30）
「集客力がアップする、効果的な広報物の作り方」
坂田静香（特定非営利活動法人全国女性会館協議会事務局長）
- ・講義8：ハンセン病患者・元患者（13：30～15：00）
「ハンセン病と人権」
佐川 修（多磨全生園入所者自治会会長）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
萩本 猛（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室企画官）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2015（平成27）年10月20日（火）～22日（木）

【会場】アステールプラザ 4F 大会議室AB（広島県広島市 中区加古町4-17）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】49人（事前申込者数：57人） * 別途、法務省関係者25人

【研修内容】

◎10月20日（火）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
熊谷浩一（法務省人権擁護局人権擁護調査官）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析～ワークショップ型の手法の意義と危険性、そして可能性」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10月20日（火）

- ・講義2：外国人（9：15～10：45）
「外国人の人権を守るために一地域コミュニティの再生と外国人政策の改革」
井口 泰（関西学院大学教授）
- ・講義3：刑を終えて出所した人/犯罪被害者（11：00～12：30）
「加害者・被害者の対立を超えて（少年事件を中心に）」
多田 元（弁護士、特定非営利活動法人全国不登校新聞社代表理事）
- ・講義4：効果的な啓発手法（13：30～15：00）
「啓発方法論 コミュニケーションから考える人権の伝えかた」
若林源基（公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員）
- ・講義5：同和問題（15：15～16：45）
「同和問題のこれまで、そしてこれから ～同和对策審議会答申50年の節目に考える～」
馬場周一郎（ジャーナリスト[元西日本新聞記者]、福岡県同和人権問題講師団講師）

◎10月21日（水）

- ・講義6：性的指向（9：15～10：45）
「性別で見る多様性と人権～性的指向とセクシュアリティ～」
飯田亮瑠（Diveinnon ダイビーノン代表）
- ・講義7：震災と人権（11：00～12：30）
「福島子どもたちへの支援を通して」
本多 環（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）
- ・講義8：アイヌの人々（13：30～15：00）
「アイヌ民族の人権」
萱野志朗（萱野茂二風谷アイヌ資料館館長）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
郷路健二（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室参事官補佐）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2015（平成27）年11月10日（月）～12日（水）

【会場】メルパルク京都・5F・京極（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676 番13）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 80人（事前申込者数：94人） *別途、法務局関係者15人

【研修内容】

◎11月9日（月）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
井川 良（法務省人権擁護局補佐官）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「人権ファシリテーター基礎講座～共に生きる社会をつくるために～」
岩山 仁（特定非営利活動法人多民族共生人権教育センター理事）

◎11月10日（火）

- ・講義2：性同一性障がいの人々（9：15～10：45）
「性別で見る多様性と人権 ～性別違和とセクシュアリティ～」
飯田亮瑠（Diveinnon ダイビーノン代表）
- ・講義3：子ども（11：00～12：30）
「子どもたちの人権とその課題 ～子どもたちにラブレターを書こう～」
新保真紀子（神戸親和女子大学教授）
- ・講義4：女性（13：30～15：00）
「男女共同参画は日本の希望」
山田昌弘（中央大学教授）
- ・講義5：外国人（15：15～16：45）
「外国人の人権を守るために ―地域コミュニティの再生と外国人政策の改革―」
井口 泰（関西学院大学教授）

◎11月11日（水）

- ・講義6：効果的な啓発手法（9：15～10：45）
「啓発方法論 コミュニケーションから考える人権のとらえかた伝えかた」
若林源基（公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員）
- ・講義7：ホームレスの人々（11：00～12：30）
「ホームレス・生活困窮者支援を通じたまちづくり」
佐久間裕章（特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会代表理事）
- ・講義8：震災と人権（13：30～15：00）
「福島の子どもたちへの支援を通して」
本多 環（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
渡辺元気（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室主査）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2014（平成 26）年 10 月 1 日（水）～3 日（金）

【会場】コンベンションルーム A P 名古屋・名駅・B+C+D（愛知県名古屋市中村区名駅 4-10-25 名駅 I M A I ビル 8 階）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 51 人（事前申込者数：52 人）＊別途、法務局関係者 4 人

【研修内容】

◎10 月 1 日（水）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
大橋光典（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義 1：ワークショップ（13：30～16：45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10 月 2 日（木）

- ・講義 2：同和問題（9：15～10：45）
「新しい部落史とこれからの同和問題」
灘本昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義 3：犯罪被害者等（11：00～12：30）
「犯罪被害者から見た社会と人権の在り方」
片山徒有（被害者と司法を考える会代表）
- ・講義 4：外国人（13：30～15：00）
「『ちがいを豊かさに』～共に生きる社会をつくるために～」
岩山 仁（多民族共生人権教育センター理事）
- ・講義 5：子ども（15：15～16：45）
「子どもの人権とスクールソーシャルワーク ～最善の利益実現のために～」
山下英三郎（日本社会事業大学名誉教授/大学院特任教授、日本スクールソーシャルワーク協会前会長）

◎10 月 3 日（水）

- ・講義 6：H I V 感染者（9：15～10：45）
「当事者の視点から見る H I V・エイズの現状と人権をめぐる諸問題」
高久陽介（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス事務局長）
- ・講義 7：インターネットと人権（11：00～12：30）
「インターネットと青少年の人権」
渡辺真由子（メディアジャーナリスト）
- ・講義 8：震災と人権（13：30～15：00）
「東日本大震災における人権と伴走型支援」
奥田 知志（特定非営利活動法人 抱樸 理事長）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
梅原義裕（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2014（平成 26）年 10 月 22 日（水）～24 日（金）

【会場】世界貿易センタービル WTC コンファレンスセンター 3F ルーム A
（東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】 61 人（事前申込者数：72 人）＊別途、法務局関係者 18 人

【研修内容】

◎10 月 22 日（水）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
大橋光典（法務省人権擁護局人権啓発課課長）
- ・講義 1：ワークショップ（13：30～16：45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10 月 23 日（木）

- ・講義 2：高齢者（9：15～10：45）
「高齢者の人権 ～認知症をめぐる現状と課題～」
上野秀樹（千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部特任准教授）
- ・講義 3：女性（11：00～12：30）
「男女共同参画社会の実現にむけて - 現状と課題 - 」
萩原なつ子（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・教授）
- ・講義 4：インターネットと人権（13：30～15：00）
「インターネットと青少年の人権」
渡辺真由子（メディアジャーナリスト）
- ・講義 6：同和問題（15：15～16：45）
「部落差別をこえて ～取材ノートから～」
臼井敏男（元朝日新聞論説委員）

◎10 月 24 日（金）

- ・講義 6：アイヌの人々（9：15～10：45）
「アイヌの人々と人権 ～日本国憲法と先住民族～」
常本照樹（北海道大学アイヌ・先住民研究センター長）
- ・講義 7：震災と人権（11：00～12：30）
「東日本大震災における人権と伴走型支援」
奥田知志（特定非営利活動法人 抱樸 理事長）
- ・講義 8：外国人
「外国人と人権 『ちがいを豊かさに』 ～共に生きる社会をつくるために～」
岩山 仁（多民族共生人権教育センター理事）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
竹島 恒（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室参事官補佐）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2014（平成26）年11月10日（月）～12日（水）

【会場】メルパルク京都・5F・京極（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】99人（事前申込者数：110人） *別途、法務局関係者25人

【研修内容】

◎11月10日（月）

- ・受付（10：30～11：15）
- ・オリエンテーション・開講式（11：15～11：30）
- ・法務省行政説明（11：30～12：30）
大橋 光典（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13：30～16：45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎11月11日（火）

- ・講義2：障がい者（9：15～10：45）
「障害者差別解消法 ～誰にも優しい社会へ～」
野澤和弘（毎日新聞論説委員）
- ・講義3：インターネットと人権（11：00～12：00）
「インターネットと青少年の人権」
渡辺真由子（メディアジャーナリスト）
- ・講義4：刑をえて出所した人/ホームレスと人権（13：30～15：00）
「刑を終えて出所した人・ホームレスと人権 ～すべての人を社会の一員として～」
炭谷 茂（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）
- ・講義6：同和問題（15：15～16：45）
「部落差別をこえて ～取材ノートから～」
臼井敏男（元朝日新聞論説委員）

◎11月12日（水）

- ・講義6：外国人（9：15～10：45）
「外国人と人権 『ちがいを豊かさに』 ～共に生きる社会をつくるために～」
岩山 仁（多民族共生人権教育センター理事）
- ・講義7：震災と人権（11：00～12：30）
「東日本大震災における人権都伴走型支援」
奥田知志（特定非営利活動法人 抱樸 理事長）
- ・講義8：性的少数者（13：30～15：00）
「LGBTも働きやすい職場とは」
村木真紀（特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ代表）
- ・内閣府行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15：15～16：15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
竹島 恒（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室参事官補佐）
- ・閉講式（16：15～16：25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2013（平成25）年9月3日（火）～5日（木）

【会場】世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター 3F ルームA
（東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】61人（事前申込者数：64人） *別途、法務局関係者5人

【研修内容】

◎9月3日（火）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9月4日（水）

- ・講義2：犯罪被害者等（9:15～10:45）
「犯罪被害者とその家族の人権」
諸澤英道（常磐大学大学院教授、常磐大学国際被害者学研究所教授）
- ・講義3：子ども（11:00～12:30）
「子どもの人権保障について考える ～スクールソーシャルワークと修復的対話の観点から～」
山下英三郎（日本社会事業大学名誉教授/大学院特任教授、日本スクールソーシャルワーク協会 前会長）
- ・講義4：HIV感染者・ハンセン病患者等（13:30～15:00）
「日本のハンセン病対策と人権侵害」
神美知宏（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）
- ・講義5：性同一性障害（15:15～16:45）
「性的少数者与人権 ～とりまく社会状況と困難～」
上川あや（世田谷区議会議員）

◎9月5日（木）

- ・講義6：インターネット与人権（9:15～10:45）
「ネット被害の現状とその対応」
安川雅史（全国webカウンセリング協議会理事長）
- ・講義7：震災与人権（11:00～12:30）
「震災与人権 2011・3・11東日本大震災が残したもの ～岩手県大槌町保健師による全戸家庭訪問調査から見て来たこと～」
鈴木るり子（岩手看護短期大学教授）
- ・講義8：ホームレス（13:30～15:00）
「ホームレスの最新動向と支援策のあり方」
垣田裕介（大分大学大学院福祉社会科学研究科准教授）
- ・行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
加藤輝昭（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2013（平成25）年11月19日（火）～21日（木）

【会場】アクア博多（福岡市博多区中洲5丁目3-8）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】40人（事前申込者数：45人） *別途、法務局関係者5人

【研修内容】

◎11月19日（火）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「人権啓発研修等でのワークショップの必要性和危険性」
廣瀬隆人（宇都宮大学地域連携教育研究センター教授）

◎11月20日（水）

- ・講義2：同和問題（9:15～10:45）
「部落差別をこえて ～取材ノートから～」
臼井敏男（元朝日新聞論説委員）
- ・講義3：アイヌの人々（11:00～12:30）
「アイヌ民族の歴史と人権」
本田優子（札幌大学副学長）
- ・講義4：HIV感染者（13:30～15:00）
「HIV陽性者と人権 ～HIVと共に生きること～」
池上千寿子（特定非営利活動法人ふれいす東京理事）
- ・講義5：高齢者（15:15～16:45）
「高齢者と人権 ー高齢者虐待の防止と支援を中心にー」
梶川義人（特定非営利活動法人日本高齢者虐待防止センター理事）

◎11月21日（木）

- ・講義6：高齢者（9:15～10:45）
「高齢者と人権 ー高齢者虐待の防止と支援を中心にー」
梶川義人（特定非営利活動法人日本高齢者虐待防止センター理事）
- ・講義7：子ども（11:00～12:30）
「子どもと人権 ー大人たちにもとめられる援助の構造ー」
森田明美（東洋大学社会学部社会福祉学科教授、東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長）
- ・講義8：インターネットと人権（13:30～15:00）
「ネット被害の現状とその対応」
安川雅史（全国webカウンセリング協議会理事長、第一高等学院統括カウンセラー）
- ・行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
河野克俊（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2013（平成 25）年 10 月 29 日（火）～11 月 31 日（木）

【会場】メルパルク京都・5F・京極（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】90 人（事前申込者数：100 人） ＊別途、法務局関係者 17 人

【研修内容】

◎10 月 29 日（火）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義 1：ワークショップ（13:30～16:45）
「参加体験型の人権学習（研修）の体験と分析 ～ワークショップ型の手法の意義と危険性、そして可能性」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10 月 30 日（水）

- ・講義 2：障がい者（9:15～10:45）
「雇用創造革命」
渡邊 幸義（アイエスエフネットグループ代表）
- ・講義 3：刑を終えて出所した人（11:00～12:30）
「刑を終えて出所した人と人権～新たな就労と生活のために～」
上村泰子（オフィス上村代表）
- ・講義 4：子ども（13:30～15:00）
「子どもの人権保障について考える ～スクールソーシャルワークと修復的対話の観点から～」
山下英三郎（日本社会事業大学名誉教授/大学院特任教授、日本スクールソーシャルワーク協会 前会長）
- ・講義 5：外国人（15:15～16:15）
「多文化共生社会の形成と人権啓発 ～外国人住民との共生が開く地域の未来～」
田村太郎（特定非営利活動法人多文化共生センター大阪代表理事、ダイバーシティ研究所代表理事）

◎11 月 1 日（木）

- ・講義 6：女性（9:15～10:45）
「女性と人権 ～DV・デートDVの影響と二次被害～」
田端八重子（もりおか女性センターセンター長、特定非営利活動法人参画プランニング・いわて 副理事長兼事務局長）
- ・講義 7：震災と人権（11:00～12:30）
「震災と人権 2011・3.11 東日本大震災が残したものー岩手県大槌町保健師による全戸家庭訪問調査から見てきたことー」
鈴木るり子（岩手看護短期大学教授）
- ・講義 8：インターネットと人権（13:30～15:00）
「ネット被害の現状とその対応」
安川雅史（全国webカウンセリング協議会理事長、第一高等学院統括カウンセラー）
- ・行政説明：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
榎田 孝一郎（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室企画官）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2012（平成24）年10月17日（水）～19日（金）

【会場】広島YMCA国際文化センター・2号館・B1F・コンベンションホール（広島県広島市中区八丁堀7-11）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】57人（事前申込者数：58人） ＊別途、法務局関係者11人

【研修内容】

◎10月17日（水）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：インターネットと人権（13:30～15:00）
「多様性を認め合うインターネットと人権のあり方について」
加納 寛子（山形大学基盤教育院准教授）
- ・講義2：障害者（15:15～16:45）
「障害者の人権—障害者の権利条約」
長瀬 修（立命館大学生存学研究センター特別招聘教授）

◎10月18日（木）

- ・講義3：ワークショップ（9:15～12:30）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義4：女性（13:30～15:00）
「女性の人権 女性への暴力をなくすために」
大津 恵子（人身売買禁止ネットワーク共同代表、元女性の家HELP ディレクター）
- ・講義5：犯罪被害者等（15:15～16:45）
「犯罪被害者の人権 成立の過程と今後の課題」
林 良平（全国犯罪被害者の会代表幹事）

◎10月19日（金）

- ・講義6：性的指向（9:15～10:45）
「性的指向における自由と平等」
柳橋 晃俊（特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会の会副代表理事、アドボカシ部門／法律サービスディレクター）
- ・講義7：東日本大震災に起因する人権問題（11:00～12:30）
「震災復興と人権」
北原 啓司（弘前大学教育学部教授、副学部長（併任）、教員養成学研究開発センター長、
同大学大学院地域社会研究科教授（兼任））
- ・講義8：ホームレス（13:30～15:00）
「路上生活者への眼差しを考える—ひとさじの会の活動を通して—」
吉水 岳彦（浄土宗瑞雲山無量寿寺光照院副住職、淑徳大学非常勤講師、社会慈業委員会（ひとさじの会）事務局長）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
河野 克俊（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2012（平成24）年11月12日（月）～14日（水）

【会場】メルパルク京都・5F・京極（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】94人（事前申込者数：96人）＊別途、法務局関係者13人

【研修内容】

◎11月12日（月）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎11月13日（火）

- ・講義2：東日本大震災に起因する人権問題（9:15～10:45）
「多様性を認め合うインターネットと人権のあり方について」
加納 寛子（山形大学基盤教育院准教授）
- ・講義3：ハンセン病患者・回復者（11:00～12:30）
「加害者と被害者と傍観者と社会が問われているハンセン病問題」
神 美知宏（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）
- ・講義4：刑を終えて出所した人（13:30～15:00）
「子どもと人権～虐待問題を中心に～」
オ村 純（関西学院大学人間福祉学部教授、日本子ども家庭総合研究所ソーシャルワーク研究担当部長）
- ・講義5：HIV感染者等（15:15～16:45）
「性的少数者と人権～とりまく社会状況と困難～」
上川 あや（世田谷区議会議員）

◎11月14日（水）

- ・講義6：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（9:15～10:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
田中 康彦（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・講義7：高齢者（10:30～12:00）
「人身売買は何故おきる？—受入大国ニッポンの現状と課題」
吉田 容子（人身売買禁止ネットワーク共同代表、市民共同法律事務所弁護士、立命館大学法科大学院教授）
- ・講義8：東日本大震災に起因する人権問題（13:00～14:30）
「震災と人権」
山口 幸夫（日本社会事業大学社会事業研究所准教授）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（14:45～16:15）
「同和問題 ～いま、何が問われているのか～」
馬場 周一郎（株式会社西日本新聞TNC文化サークル取締役、元西日本新聞記者）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2012（平成24）年9月19日（水）～21日（金）

【会場】世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター 3F ルームA
（東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】67人（事前申込者数：75人） ＊別途、法務局関係者21人

【研修内容】

◎9月19日（水）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9月20日（木）

- ・講義2：東日本大震災に起因する人権問題（9:15～10:45）
「絆が希望を創り出す ～ホームレス支援から見た無縁日本～」
奥田 知志（特定非営利活動法人北九州ホームレス支援機構理事長、日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師）
- ・講義3：インターネットと人権（11:00～12:30）
「多様性を認め合うインターネットと人権のあり方について」
加納 寛子（山形大学基盤教育院准教授）
- ・講義4：刑を終えて出所した人（13:30～15:00）
「刑を終えて出所した人と人権 ～育つ人・育てる人の心～」
中井 政嗣（千房株式会社代表取締役）
- ・講義5：HIV感染者等（15:15～16:45）
「HIV陽性者と人権」
池上 千寿子（特定非営利活動法人ふれいす東京理事）

◎9月21日（金）

- ・講義6：アイヌの人々（9:15～10:45）
「アイヌ民族の文化と人権」
本田 優子（札幌大学副学長）
- ・講義7：高齢者（11:00～12:30）
「高齢者と人権 ～エイジズム・高齢者虐待・孤立死～」
副田 あけみ（関東学院大学文学部現代社会学科教授）
- ・講義8：外国人（13:30～15:00）
「外国人の子どもと人権」
小島 祥美（愛知淑徳大学文学部教育学科准教授）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
河野 克俊（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2012（平成24）年10月17日（水）～19日（金）

【会場】広島YMCA国際文化センター・2号館・B1F・コンベンションホール（広島県広島市中区八丁堀7-11）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】57人（事前申込者数：58人） ＊別途、法務局関係者11人

【研修内容】

◎10月17日（水）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：インターネットと人権（13:30～15:00）
「多様性を認め合うインターネットと人権のあり方について」
加納 寛子（山形大学基盤教育院准教授）
- ・講義2：障害者（15:15～16:45）
「障害者の人権—障害者の権利条約」
長瀬 修（立命館大学生存学研究センター特別招聘教授）

◎10月18日（木）

- ・講義3：ワークショップ（9:15～12:30）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義4：女性（13:30～15:00）
「女性の人権 女性への暴力をなくすために」
大津 恵子（人身売買禁止ネットワーク共同代表、元女性の家HELP ディレクター）
- ・講義5：犯罪被害者等（15:15～16:45）
「犯罪被害者の人権 成立の過程と今後の課題」
林 良平（全国犯罪被害者の会代表幹事）

◎10月19日（金）

- ・講義6：性的指向（9:15～10:45）
「性的指向における自由と平等」
柳橋 晃俊（特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会の会副代表理事、アドボカシ部門／法律サービスディレクター）
- ・講義7：東日本大震災に起因する人権問題（11:00～12:30）
「震災復興と人権」
北原 啓司（弘前大学教育学部教授、副学部長（併任）、教員養成学研究開発センター長、同大学大学院地域社会研究科教授（兼任））
- ・講義8：ホームレス（13:30～15:00）
「路上生活者への眼差しを考える—ひとさじの会の活動を通して—」
吉水 岳彦（浄土宗瑞雲山無量寿寺光照院副住職、淑徳大学非常勤講師、社会慈業委員会（ひとさじの会）事務局長）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
河野 克俊（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2012（平成24）年11月12日（月）～14日（水）

【会場】メルパルク京都・5F・京極（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13）

【主催】法務省人権擁護局、公益財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】94人（事前申込者数：96人）＊別途、法務局関係者13人

【研修内容】

◎11月12日（月）

- ・受付（10:30～11:15）
- ・オリエンテーション・開講式（11:15～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
野崎 昌利（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎11月13日（火）

- ・講義2：東日本大震災に起因する人権問題（9:15～10:45）
「多様性を認め合うインターネットと人権のあり方について」
加納 寛子（山形大学基盤教育院准教授）
- ・講義3：ハンセン病患者・回復者（11:00～12:30）
「加害者と被害者と傍観者と社会が問われているハンセン病問題」
神 美知宏（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）
- ・講義4：刑を終えて出所した人（13:30～15:00）
「子どもと人権～虐待問題を中心に～」
オ村 純（関西学院大学人間福祉学部教授、日本子ども家庭総合研究所ソーシャルワーク研究担当部長）
- ・講義5：HIV感染者等（15:15～16:45）
「性的少数者と人権～とりまく社会状況と困難～」
上川 あや（世田谷区議会議員）

◎11月14日（水）

- ・講義6：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（9:15～10:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
田中 康彦（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・講義7：高齢者（10:30～12:00）
「人身売買は何故おきる？—受入大国ニッポンの現状と課題」
吉田 容子（人身売買禁止ネットワーク共同代表、市民共同法律事務所弁護士、立命館大学法科大学院教授）
- ・講義8：東日本大震災に起因する人権問題（13:00～14:30）
「震災と人権」
山口 幸夫（日本社会事業大学社会事業研究所准教授）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（14:45～16:15）
「同和問題 ～いま、何が問われているのか～」
馬場 周一郎（株式会社西日本新聞TNC文化サークル取締役、元西日本新聞記者）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2011（平成23）年9月14日（水）～16日（金）

【会場】WTCコンファレンスセンター 3F ルームA （東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】76人

【研修内容】

◎9月14日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9月15日（木）

- ・講義2：女性（9:15～10:45）
「女性と人権」
江原 由美子（首都大学東京 理事・副学長）
- ・講義3：同和問題（11:00～12:30）
「障害者の人権」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義4：インターネットによる人権侵害（13:30～15:00）
「インターネットと人権」
吉川 誠司（財団法人インターネット協会・インターネット・ホットラインセンター副センター長、WEB110代表）
- ・講義5：人身取引／トラフィッキング（15:15～16:45）
「人身取引被害者の最終目的地としてのニッポンの課題」
藤原 志帆子（特定非営利活動法人ポラリスプロジェクトジャパン・コーディネーター）

◎9月16日（金）

- ・講義6：性的指向（9:15～10:45）
「性的指向における自由と平等」
柳橋 晃俊（特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンのかい 副代表理事、アドボカシー部門／法律サービスディレクター）
- ・講義7：震災と人権（11:00～12:30）
「災害と人権 ―職場における惨事ストレス対策―」
飛鳥井 望（財団法人東京都医学総合研究所副所長、心の健康プロジェクトリーダー）
- ・講義8：ホームレス（13:30～15:00）
「ホームレスと社会的排除と人権」
笹沼 弘志（静岡大学教育学部教授、野宿者のための静岡パトロール事務局長）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
東郷 康弘（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2011（平成23）年10月19日（水）～21日（金）

【会場】コンベンションルームAP名古屋 名駅 8F B+C+D（愛知県名古屋市中村区名駅4-10-23 名駅IMAビル）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】89人

【研修内容】

◎10月20日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：震災と人権（13:30～15:00）
「震災における心のケアと人権」
柳原 里枝子（株式会社ハートセラピー代表取締役、看護師、産業カウンセラー、認定心理士）
- ・講義2：子ども（15:15～16:45）
「子どもたちに寄り添う ～いじめ、虐待、非行の現場から～」
坪井 節子（弁護士、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長）

◎10月20日（木）

- ・講義3：インターネットによる人権侵害（9:15～10:45）
「インターネットと人権」
吉川 誠司（財団法人インターネット協会、インターネット・ホットラインセンター副センター長、WEB110代表）
- ・講義4：同和問題（11:00～12:30）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・講義5：ハンセン病（13:30～15:00）
「日本のハンセン病対策と患者の人権」
神 美知宏（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）
- ・講義6：刑を終えて出所した人（15:15～16:45）
「刑を終えて出所した人の人権」
炭谷 茂（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長、学習院大学法学部特別客員教授、人権文化を育てる会代表世話人）

◎10月21日（金）

- ・講義7：ワークショップ（9:15～12:30）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義8：外国人（13:30～15:00）
「違いを楽しみ 力に変える多文化共生“新”時代」
J. A. T. D. にしゃんた（羽衣国際大学現代社会学部放送・メディア映像学科准教授、経済学博士、多民族共生人権教育センター理事）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
篠原 弘明（内閣官房拉致問題対策本部事務局政策調整室参事官補佐）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2010（平成22）年11月15日（火）～17日（木）

【会場】三宮研修センター 6F・B （兵庫県神戸市中央区八幡通4-2-12）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】80人

【研修内容】

◎11月15日（火）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：アイヌの人々（13:30～15:00）
「アイヌ民族に関する人権学習」
若園 雄志郎（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）
- ・講義2：高齢者（15:15～16:45）
「高齢者の人権問題～高齢者虐待の対応に焦点を当てて～」
多々良 紀夫（淑徳大学大学院総合福祉研究科教授、日本高齢者虐待防止学会理事）

◎11月16日（水）

- ・講義3：ワークショップ（9:15～12:30）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義4：HIV感染者（13:30～15:00）
「HIV陽性者と人権」
池上 千寿子（特定非営利活動法人ふれいす東京代表）
- ・講義5：犯罪被害者とその家族（15:15～16:45）
「犯罪被害者の人権 成立の過程と今後の課題」
林 良平（全国犯罪被害者の会「あすの会」代表幹事）

◎11月17日（木）

- ・講義6：インターネットによる人権侵害（9:15～10:45）
「インターネットと人権」
吉川 誠司（財団法人インターネット協会、インターネット・ホットラインセンター副センター長、WEB110代表）
- ・講義7：性同一性障害（11:00～12:30）
「性同一性障害と人権」
虎井 まさ衛（FTM日本主宰、作家、「オフィス然nature」代表、立教大学非常勤講師）
- ・講義8：震災と人権（13:30～15:00）
「震災と人権」
森川 すいめい（TENOHASI（てのはし）代表、世界の医療団TP代表、一陽会陽和病院医師）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:15）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
安藤 年式（内閣官房拉致問題対策本部事務局総務・拉致被害者等支援室企画官）
- ・閉講式（16:15～16:25）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2010（平成22）年9月8日（水）～10日（金）

【会場】WTCコンファレンスセンター 3F ルームA （東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】71人（事前申込者数：72人）

【研修内容】

◎9月8日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：女性／犯罪被害者等（13:30～15:00）
「女性の暴力被害・犯罪被害者等の人権」
小西 聖子（武蔵野大学人間関係学部教授）
- ・講義2：アイヌの人々（15:15～16:45）
「アイヌ民族の歴史と人権」
本田 優子（札幌大学文化学部教授・学部長）

◎9月9日（木）

- ・講義3：子ども（9:15～10:45）
「子ども虐待を防止するために」
澁谷 昌史（関東学院大学文学部現代社会学科准教授）
- ・講義4：同和問題（11:00～12:30）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・講義5：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9月10日（金）

- ・講義6：インターネットによる人権侵害（9:15～10:45）
「インターネット社会の人権課題」
杉井 鏡生（インフォメーション・コーディネータ）
- ・講義7：HIV感染者（11:00～12:30）
「HIV陽性者と社会生活」
池上 千寿子（特定非営利活動法人ふれいす東京代表）
- ・講義8：高齢者（13:30～15:00）
「高齢者の人権を考える—ノーマライゼーションをめざす『きらくえん』のとりくみから—」
市川 禮子（社会福祉法人きらくえん理事長）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:00）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
東郷 康弘（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2010（平成22）年10月20日（水）～22日（金）

【会場】ショークー本館ビル 3F B・C・D （宮城県仙台市青葉区五橋2-11-1）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】59人（事前申込者数：79人）

【研修内容】

◎10月20日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ:参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10月20日（水）

- ・講義2：性同一性障害（9:15～10:45）
「性同一性障害と人権」
虎井 まさ衛（FTM日本主宰）
- ・講義3：同和問題（11:00～12:30）
「同和問題のいま～そして、これから」
稲積 謙次郎（ジャーナリスト）
- ・講義4：女性（13:30～15:00）
「女性と人権」
名取 はにわ（内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）
- ・講義5：インターネットによる人権侵害（15:15～16:45）
「インターネット社会の人権課題」
杉井 鏡生（インフォメーション・コーディネータ）

◎10月22日（金）

- ・講義6：子ども（9:15～10:45）
「子ども虐待を防止するために」
澁谷 昌史（関東学院大学文学部准教授）
- ・講義7：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（11:00～11:45）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
人見 達也（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・講義8：障害のある人（12:45～14:15）
「障害者の人権—障害者の権利条約と日本」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義9：高齢者（14:30～16:00）
「高齢者の人権問題～高齢者虐待の対応に焦点を当てて～」
多々良 紀夫（淑徳大学大学院総合福祉研究科教授）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2010（平成22）年11月16日（火）～18日（木）

【会場】メルパルク京都 5F 会議室A（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル 東塩小路町 676-13）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】87人（事前申込者数：93人）

【研修内容】

◎11月16日（火）

- ・受付（10:30～11:00）
- ・オリエンテーション・開講式（11:00～11:05）
- ・講義1ー①：ワークショップ（11:05～12:30）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義1ー②：ワークショップ（13:30～15:00）
「ワークショップ：参加体験型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義2：高齢者（15:15～16:45）
「高齢者の人権問題～高齢者虐待の対応に焦点を当てて～」
多々良 紀夫（淑徳大学大学院総合福祉研究科教授）

◎11月17日（水）

- ・講義3：子ども（9:15～10:45）
「子どもにやさしいまちづくり—子どもの権利条約と子ども施策—」
喜多 明人（早稲田大学文化構想学部教授）
- ・講義4：外国人（11:00～12:30）
「移民・難民・無国籍の人々と共に」
川村 千鶴子（大東文化大学環境創造学部教授）
- ・講義5：女性（13:30～15:00）
「女性と人権」
名取 はにわ（内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）
- ・講義6：ホームレス／刑を終えて出所した人（15:15～16:45）
「ホームレス、刑務所出所者等社会的排除をされる人々の人権 ～ソーシャルインクルージョンによる取り組み～」
炭谷 茂（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）

◎11月18日（木）

- ・講義7：障害のある人（9:15～10:45）
「障害者の人権—障害者の権利条約と日本」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義8：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（11:00～11:45）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
笠井 康広（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・講義9：同和問題（12:45～14:15）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・法務省行政説明（14:30～15:30）
大河原 清人（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2009（平成 21）年 9 月 2 日（水）～4 日（金）

【会場】メルパルク東京 5F「瑞雲」（東京都港区芝公園 2-5-20）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】68 人（事前申込者数：74 人）

【研修内容】

◎9 月 2 日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
浅井 琢児（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義 1：子ども（13:30～15:00）
「子どもの権利」
荒牧 重人（山梨学院大学大学院法務研究科（法科大学院）長）
- ・講義 2：障害のある人（15:15～16:45）
「わが国における障害者の人権の現状と課題 一国連・障害者権利条約に照らして考える」
松井 亮輔（法政大学現代福祉学部現代福祉学科教授）

◎9 月 3 日（木）

- ・講義 3：インターネットによる人権侵害（9:15～10:45）
「インターネット社会と人権」
杉井 鏡生（インフォメーション・コーディネータ）
- ・講義 4：ホームレス・刑を終えて出所した人（11:00～12:30）
「ホームレス等社会的排除をされる人々の人権 ～ソーシャルインクルージョンによる取り組み」
炭谷 茂（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）
- ・講義 5：アイヌの人々の人権（13:30～15:00）
「アイヌ民族の人権と教育」
本田 優子（札幌大学文化学部教授・学部長）
- ・講義 6：同和問題（15:15～16:45）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）

◎9 月 4 日（金）

- ・講義 7：ワークショップ（9:15～12:30）
「参加型学習の有効性と危険性」
廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）
- ・講義 8：女性（13:30～15:00）
「女性の人権」
名取 はにわ（内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）
- ・講義 9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:00）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
大塚 剛（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2009（平成 21）年 9 月 28 日（月）～30 日（水）

【会場】メルパルク京都 4F 研修室 3（大）（京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】101 人（事前申込者数：108 人）

【研修内容】

◎9 月 28 日（月）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
浅井 琢児（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～16:45）
「参加型学習の有効性と危険性」
廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）

◎9 月 29 日（火）

- ・講義 2：子ども（9:15～10:45）
「子どもの権利」
荒牧 重人（山梨学院大学大学院法務研究科（法科大学院）長）
- ・講義 3：障害のある人（11:00～12:30）
「わが国における障害者の人権の現状と課題 一国連・障害者権利条約に照らして考える」
松井 亮輔（法政大学現代福祉学部現代福祉学科教授）
- ・講義 4：高齢者（13:30～15:00）
「高齢者の人権福祉の充実を求めて」
田中 莊司（日本大学文理学部社会学科客員教授）
- ・講義 5：インターネットによる人権侵害（15:15～16:45）
「インターネット社会と人権」
杉井 鏡生（インフォメーション・コーディネータ）

◎9月30日（水）

- ・講義6：同和問題（9:15～10:45）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・講義 7：H I V感染者（11:00～12:30）
「H I V陽性者と人権」
池上 千寿子（特定非営利活動法人ぶれいす東京代表）
- ・講義8：女性（13:30～15:00）
「女性の人権」
名取 はにわ（内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）
- ・講義9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:00）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
簾内 友之（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2009（平成 21）年 10 月 14 日（水）～16 日（金）

【会場】アクロス福岡 7F 大会議室（福岡市中央区天神 1-1-1）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】63 人（事前申込者数：68 人）

【研修内容】

◎10 月 14 日（水）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
浅井 琢児（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：ワークショップ（13:30～15:45）
「参加型学習の有効性と危険性」
廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）

◎10 月 15 日（木）

- ・講義 2：障害のある人（9:15～10:45）
「障害者の権利条約と日本の課題」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義 3：性同一性障害者（11:00～12:30）
「性同一性障害と人権」
虎井 まさ衛（F T M 日本主宰）
- ・講義 4：インターネットによる人権侵害（13:30～15:00）
「インターネット社会と人権」
杉井 鏡生（インフォメーション・コーディネータ）
- ・講義 5：子ども（15:15～16:45）
「子どもの権利」
荒牧 重人（山梨学院大学大学院法務研究科（法科大学院）長）

◎10月16日（金）

- ・講義 6：外国人（9:15～10:45）
「外国人の子どもが置かれた教育環境 ～外国人労働者とその家庭の状況～」
小島 祥美（愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター講師）
- ・講義 7：同和問題（11:00～12:30）
「同和問題の現状と課題」
稲積 謙次郎（ジャーナリスト）
- ・講義 8：女性（13:30～15:00）
「女性の人権」
名取 はにわ（内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）
- ・講義 9：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:15～16:00）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
小出 孝治（内閣官房拉致問題対策本部事務局企画官）
簾内 友之（内閣官房拉致問題対策本部事務局参事官補佐）
- ・閉講式（16:00～16:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2008（平成 20）年 9 月 1 日（月）～3 日（水）

【会場】メルパルク東京 5F「瑞雲」（東京都港区芝公園 2－5－20）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】89 人（事前申込者数：93 人）

【研修内容】

◎9月1日（月）

- ・ 受付（10:30～11:20）
- ・ オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・ 法務省行政説明（11:30～12:10）
 亀田 哲（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・ 行政説明（12:10～12:30）
 「拉致問題における今後の対応方針」
 北條 純人（内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室企画官）
- ・ 講義 1：子どもと人権（13:30～15:00）
 「子どもの人権、子どもの権利条約」
 喜多 明人（早稲田大学文化構想学部教授）
- ・ 講義 2：同和問題（15:15～16:45）
 「これからの同和問題」
 灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）

◎9月2日（火）

- ・ 講義 3：犯罪被害者と人権（9:15～10:45）
 「犯罪被害者の人権」
 山上 皓（特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク理事長）
- ・ 講義 4：高齢者と人権（11:00～12:30）
 「高齢者の虐待防止、人権擁護を求めて」
 田中 荘司（日本大学文理学部社会学科客員教授）
- ・ 講義 5：女性と人権（13:30～15:00）
 「女性の人権 —— その基本と進化」
 有馬 真喜子（特定非営利活動法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）
- ・ 講義 6：インターネットと人権（15:15～16:45）
 「インターネットと人権」
 田島 正広（弁護士）

◎9月3日（水）

- ・ 講義 7：障害のある人と人権（9:15～10:45）
 「障害者の権利条約と日本の課題」
 長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・ 講義 8：ホームレスと人権（11:00～12:30）
 「ホームレスと人権」
 炭谷 茂（恩賜財団済生会理事長）
- ・ 講義 9：「ワークショップ：参加型の人権学習の体験と分析」（13:30～16:45）
 桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・ 閉講式（16:45～16:55）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2008（平成 20）年 10 月 20 日（月）～22 日（水）

【会場】アステールプラザ 4F「大会議室 A・B」（広島県広島市中区加古町 4-17）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】60 人（事前申込者数：67 人）

【研修内容】

◎10月20日（月）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
亀田 哲（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義1：性同一性障害と人権（13:30～15:00）
「性同一性障害と人権」
虎井 まさ衛（FTM日本主宰）
- ・講義2：外国人と人権（15:15～16:45）
「外国人住民が直面する課題と多文化共生社会形成にむけた取り組みについて」
田村 太郎（特定非営利活動法人多文化共生センター代表理事）

◎10月21日（火）

- ・講義3：障害のある人と人権（9:15～10:45）
「障害者の権利条約と日本の課題」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義4：同和問題（11:00～12:30）
「これからの同和問題」
灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義5：ワークショップ（13:30～16:45）
「ワークショップ：参加型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎10月22日（水）

- ・講義6：刑を終えて出所した人と人権（9:15～10:00）
「刑を終えて出所した人たち（満期釈放者）の現状と課題」
永井 文昭（広島保護観察所企画調整課長）
- ・講義7：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（10:00～10:45）
「拉致問題における今後の対応方針」
北條 純人（内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室企画官）
- ・講義8：子どもと人権（11:00～12:30）
「子どもの人権、子どもの権利条約」
喜多 明人（早稲田大学文化構想学部教授）
- ・講義9：高齢者と人権（13:30～15:00）
「高齢者の虐待防止、人権擁護を求めて」
田中 莊司（日本大学文理学部社会科学科客員教授）
- ・講義10：女性と人権（15:15～16:45）
「女性の人権——その基本と進化」
有馬 真喜子（特定非営利活動法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）
- ・閉講式（16:45～16:55）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2008（平成 20）年 11 月 4 日（火）～6 日（木）

【会場】京都リサーチパーク 西地区 4 号館 2 F「ルーム 1」（京都府京都市下京区中堂栗田町 9 3）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】68 人（事前申込者数：73 人）

【研修内容】

◎11 月 4 日（火）

- ・受付（10:30～11:20）
- ・オリエンテーション・開講式（11:20～11:30）
- ・法務省行政説明（11:30～12:30）
亀田 哲（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義 1：高齢者と人権（13:30～15:00）
「高齢者の虐待防止、人権擁護を求めて」
田中 荘司（日本大学文理学部社会学科客員教授）
- ・講義 2：障害のある人と人権（15:15～16:45）
「障害者の権利条約と日本の課題」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）

◎11 月 5 日（水）

- ・講義 3：ワークショップ（9:15～12:30）
「ワークショップ：参加型の人権学習の体験と分析」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）
- ・講義 4：子どもと人権（13:30～15:00）
「子どもの人権、子どもの権利条約」
喜多 明人（早稲田大学文化構想学部教授）
- ・講義 5：女性と人権（15:15～16:45）
「女性の人権 —— その基本と進化」
有馬 真喜子（特定非営利活動法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）

◎11 月 6 日（木）

- ・講義 6：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（9:15～10:45）
「拉致問題における今後の対応方針」
中村 耕一郎（内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室長）
- ・講義 7：アイヌの人々と人権（11:00～12:30）
「アイヌ民族に関する人権教育のあり方」
本田 優子（札幌大学文化学部教授）
- ・講義 8：同和問題（13:30～15:00）
「これからの同和問題」
灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義 9：ハンセン病患者とその家族と人権（15:15～16:45）
「ハンセン病と人権」
内田 博文（九州大学大学院法学研究院教授）
- ・閉講式（16:45～16:55）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2007（平成 19）年 9 月 18 日（火）～9 月 21 日（金）

【会場】メルパルク東京 5 F 「瑞雲」（東京都港区芝公園 2-5-20）

【主催】法務省人権擁護局、財団法人人権教育啓発推進センター

【受講者数】60 人（事前申込者数：62 人）

【研修内容】

◎9/18（火） [会場：新梅田研修センター・3 F]

- ・ 受付（11:15～12:15）
- ・ オリエンテーション・開講式（12:15～12:30）
- ・ 法務省行政説明（12:30～13:30）
 亀田 哲（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・ 講義 1：障がいのある人と人権
 「障害者の人権－国連障害者の権利条約－」
 長瀬修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・ 講義 2：外国人
 「外国人と人権－外国人住民の課題と自治体への期待－」
 田村太郎（NPO 法人多文化共生センター理事）

◎9/19（水）

- ・ 講義 3：ホームレスの人々（9：20～10：50）
 「路上生活者の人権－私の行政経験と実践からの考察－」
 炭谷茂（（財）休暇村協会理事長、環境省顧問）
- ・ 講義 4：子ども（11：05～12：35）
 「子どもの人権－子どもの権利条約をまちづくりに生かす－」
 喜多明人（早稲田大学文学部教授）
- ・ 講義 5：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（13：35～15：05）
 「北朝鮮による日本人拉致問題」
 河本健一（内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室企画官）
- ・ 講義 6：障がいのある人（16：00～17：00）
 「福祉施設で暮らしている人たちの生活向上のための指針」の策定について
 酒井ユミ子（千葉県健康福祉部健康福祉政策課人権室）

◎9/20（木）

- ・ 講義 7：女性（9：20～10：50）
 「女性の人権」
 有馬真喜子（NPO 法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）
- ・ 講義 8・9：ワークショップ（11：05～17：00）
 「人権教育・啓発の在り方について」
 福田弘（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）

◎9/21（金）

- ・ 講義 10：同和問題（9：20～10：50）
 「これからの同和問題」
 灘本昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・ 講義 11：犯罪被害者等（11：05～12：35）
 「犯罪被害者の人権」
 三木善彦（帝塚山大学心理福祉学部教授）
- ・ 講義 12：アイヌの人々（13：35～15：05）
 「アイヌの人々と人権」
 榎森進（東北学院大学文学部歴史学科教授）

【期間】2007（平成 19）年 10 月 23 日（火）～10 月 26 日（金）

【会場】天満研修センター（大阪府大阪市北区錦町 2-21）

【受講者数】98 人（事前申込者数：96 人）

【研修内容】

◎10/23 日（火）

- ・受付（11:15～12:15）
- ・オリエンテーション・開講式（12:15～12:30）
- ・法務省行政説明（12:30～13:10）
亀田哲（法務省人権擁護局人権啓発課長）
- ・講義 1：人権一般（13:45～15:15）
「国連改革と人権：人権理事会の設立と国連人権機関の今後」
横田洋三（（財）人権教育啓発推進センター理事長、中央大学法科大学院教授）
- ・講義 2：子どもと人権（15:30～17:00）
「子どもの人権－子どもの権利条約をまちづくりに生かす－」
喜多明人（早稲田大学文学部教授）

◎10/24（水）

- ・講義 3：ワークショップ（9:20～12:45）
「ワークショップ：参加型の人権学習の体験と分析」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所）
- ・講義 4：ハンセン病と人権（13:45～15:15）
「ハンセン病と人権」
内田博文（九州大学大学院法学研究院教授）
- ・講義 5：北朝鮮当局によって拉致された被害者等（15:30～17:00）
「北朝鮮による日本人拉致問題」
河本健一（内閣官房拉致問題対策本部事務局総合調整室企画官）

◎10/25（木）

- ・講義 6：同和問題（9:20～10:50）
「これからの同和問題」
灘本昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・講義 7：高齢者と人権（11:05～12:35）
「高齢者の人権－認知症を中心に－」
井上英夫（金沢大学法学部公共政策大講座福祉政策論担当教授）
- ・講義 8：外国人と人権
「『外国人集住都市会議』事務局の経験と市における外国人住民政策について」
坂井嘉己（美濃加茂市役所経営企画部多文化共生室）
- ・講義 9：「インターネットと人権」
田島正広（弁護士）

◎10/26（金）

- ・講義 10：障がいのある人（9:20～10:50）
「障害者の人権－国連障害者の権利条約－」
長瀬修（東京大学大学院経済学研究科特任准教授）
- ・講義 11：女性（11:05～12:35）
「女性の人権」
有馬真喜子（NPO 法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会理事長）
- ・講義 12：性同一性障害（13:35～15:05）
「性同一性障害と人権」
虎井まさ衛（FTM 日本主宰、作家、「オフィス然 nature」）

【期間】2006（平成 18）年 9 月 12 日（火）～9 月 15 日（金）

【会場】メルパルク東京・5 F「瑞雲」（東京都港区芝公園 2-5-20）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】68 人（事前申込者数：77 人 / 欠席：9 人）

【研修内容】

◎9/12（火）【会場：メルパルク東京・5 F／瑞雲】

- ・受付（12:00～13:00）
- ・オリエンテーション（13:00～13:15）
- ・開講式（13:15～13:25）
- ・【カリキュラム 1】（13:25～13:55）
「法務省の人権擁護機関の取組」
小島 寛（法務省人権擁護局人権擁護調査官）
- ・【カリキュラム 2】（13:55～15:25）
「国連改革と人権：人権理事会の設立と国連人権機関の今後の活動」
横田洋三（中央大学法学部教授、国連人権促進保護小委員会委員、財団法人人権教育啓発センター理事長）
- ・【カリキュラム 3】（15:40～17:10）
「性同一障害と人権」
虎井まさ衛（F T M 日本主宰、作家、千葉大学非常勤講師）

◎9/13（水）【会場：メルパルク東京・5 F／瑞雲】

- ・【カリキュラム 4】（9:30～11:00）
「子どもの人権にかかわる現状と課題」
平 清太郎（子ども人権オンブズマン（子どもの人権専門委員）、人権擁護委員）
- ・【カリキュラム 5】（11:15～12:45）
「刑を終えて出所した人と人権」
畠山千穂（法務省保護局更生保護振興課法務専門官）
- ・【カリキュラム 6】（13:45～17:10）
「人権啓発研修等でのワークショップの意義と危険性 参加型の手法の必要性和留意点、そして可能性」
桜井高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9/14（木）【会場：メルパルク東京・5 F／瑞雲】

- ・【カリキュラム 7】（9:30～11:00）
「これからの同和問題～地域対策からグローバルな人権問題へ～」
竹村 毅（学校法人産業医科大学顧問、日本アイ・ビー・エム株式会社顧問）
- ・【カリキュラム 8】（11:15～12:45）
「インターネットと人権」
吉川誠司（WEB110 代表）
- ・取組事例発表（13:45～15:05）
「横須賀市高齢者虐待防止センターの取り組みについて」
（神奈川県）横須賀市高齢者虐待防止センター
- ・【カリキュラム 9】（15:20～16:50）
「高齢者の人権を考える」
市川禮子（社会福祉法人尼崎老人福祉会理事長）

◎9/15（金）【会場：メルパルク東京・5 F／瑞雲】

- ・【カリキュラム 10】（9:30～11:00）
「女性と人権」
有馬真喜子（特定非営利活動法人ユニフェム日本国内委員会理事長）
- ・【カリキュラム 11】（11:15～12:45）
「「ハンセン病を生きて」～尊厳回復の願いと私のたたかい～」
森元 美代治（元ハンセン病国賠訴訟全国原告団協議会事務局次長）
- ・班別意見交換（13:45～15:25）
- ・閉講式（15:25～15:40）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2006（平成 18）年 11 月 14 日（火）～11 月 17 日（金）

【会場】新梅田研修センター 6 F （大阪府大阪市福島区福島 6-22-20）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】72 人（事前申込者数：96 人／欠席：24 人）

【研修内容】

◎11/14（火） [会場：新梅田研修センター・3 F]

- ・受付（12:00～13:00）
- ・オリエンテーション（13:00～13:20）
- ・開講式（13:20～13:35）
- ・【カリキュラム 1】（13:35～14:05）
「法務省の人権擁護機関の取組」
浜辺幸二（大阪法務局人権擁護部長）
- ・【カリキュラム 2】（14:05～15:35）
「子どもの権利について考える」
荒牧重人（山梨学院大学法科大学院教授、子どもの権利条約総合研究所事務局長）
- ・【カリキュラム 3】（15:50～17:20）
「情報社会と人権」
杉井鏡生（インフォメーション・コーディネータ）

◎11/15（水） [会場：新梅田研修センター・3 F]

- ・【カリキュラム 4】（9:30～12:50）
「人権啓発研修等でのワークショップの必要性和危険性」
廣瀬隆人（宇都宮大学教授）
- ・【カリキュラム 5】（13:50～15:20）
「国連改革と人権：人権理事会の設立と国連人権機関の今後の活動」
横田洋三（中央大学法学部教授、国連人権促進保護小委員会委員、財団法人人権教育啓発センター理事長）
- ・【カリキュラム 6】（15:35～17:05）
「外国人と人権 ～多文化共生時代における自治体の役割を中心に～」
田村太郎（NPO法人多文化共生センター理事、I I H O E（人と組織と地球のための国際研究所）研究主幹）

◎11/16（木） [会場：新梅田研修センター・3 F]

- ・【カリキュラム 7】（9:30～11:00）
「犯罪被害者の人権を考える」
三木善彦（帝塚山大学心理福祉学部教授、大阪大学名誉教授、大阪被害者支援アドボカシーセンター顧問）
- ・【カリキュラム 8】（11:15～12:45）
「これからの同和問題・人権問題」
灘本昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・取組事例発表（13:45～15:05）
「『長崎県ココロねっこ運動』の取り組みについて」
（長崎県）こども政策局こども未来課
- ・【カリキュラム 9】（15:20～16:50）
「高齢者の人権を考える」
市川禮子（社会福祉法人尼崎老人福祉会理事長）

◎11/17（金） [会場：新梅田研修センター・3 F]

- ・【カリキュラム 10】（9:30～11:00）
「障害者の人権 ー国連障害者の権利条約採択に向けてー」
長瀬 修（東京大学大学院経済学研究科特任助教授）
- ・【カリキュラム 11】（11:15～12:45）
「路上生活者と人権 ーソーシャル・インクルージョンの視点から考えるー」
炭谷 茂（環境省顧問、前環境省事務次官、元厚生省社会・援護局長）
- ・班別意見交換（13:45～15:25）
- ・閉講式（15:25～15:40）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2005（平成 17）年 9 月 13 日（火）～9 月 16 日（金）

【会場】アイビーホール青学会館・3 F「ナルド」及び 2 F「ミルトス」（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】70 人（事前申込者数：73 人 / 4 日間欠席：3 人 / 途中欠席：11 人）

【研修内容】

◎9/13（火）【会場：アイビーホール青学会館・3 F／ナルド】

- ・受付（12:00～13:00）
- ・オリエンテーション（13:00～13:20）
- ・開講式（13:20～13:35）
- ・【カリキュラム 1】（13:35～17:10）
「人権啓発研修等でのワークショップの必要性和危険性」
廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）

◎9/14（水）【会場：アイビーホール青学会館・3 F／ナルド】

- ・【カリキュラム 2】（9:20～10:50）
「子どもの人権—権利救済を中心に—」
吉田 恒雄（駿河台大学法学部教授）
- ・【カリキュラム 3】（11:10～12:40）
「外国人と人権」
川村 千鶴子（大東文化大学環境創造学部助教授、多文化教育研究所所長）
- ・【カリキュラム 4】（13:40～15:10）
「人権啓発 はじめの一歩—効果ある啓発推進のために—」
和田 若人（和田企画代表、元福島大学経済学部教授、元株式会社電通人権教育室長）
- ・【カリキュラム 5】（15:30～17:00）
「犯罪被害者の人権」
山上 皓（全国被害者支援ネットワーク会長、東京医科歯科大学難治疾患研究所教授（犯罪精神医学分野）、医学博士）

◎9/15（木）【会場：アイビーホール青学会館・3 F／ナルド】

- ・【カリキュラム 6】（9:20～10:50）
「身近な人権保障としてのコミュニケーション支援」
太田 晴康（特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会理事長、静岡福祉大学助教授）
- ・【カリキュラム 7】（11:10～12:40）
「同和問題 —これからの人権行政のあり方—」
菱山 謙二（筑波大学大学院教授（人文社会科学部現代文化・公共政策専攻））
- ・【カリキュラム 8】（13:40～15:10）
「今後の人権教育・啓発の在り方について」
福田 弘（筑波大学人間総合科学研究科教授）
- ・【カリキュラム 9】（15:30～17:00）
「インターネットにおける人権侵害への対応について」
桑子 博行（社団法人テレコムサービス協会サービス倫理委員会委員長、A T & T グローバルサービス株式会社通信渉外部長）

◎9/16（金）【会場：アイビーホール青学会館・2 F／ミルトス】

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:50）
「浜松市世界都市化ビジョン」
（静岡県）浜松市企画部国際課
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:10～12:30）
「杉並区児童青少年センターの活動について」
（東京都）杉並区児童青少年センター
- ・班別意見交換（13:30～15:10）
- ・閉講式（15:10～15:25）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2005（平成 17）年 10 月 11 日（火）～10 月 14 日（金）

【会場】ぱ・る・るプラザ京都 5F・会議室 A・大及び 4F・研修室 3 大（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】103 人（事前申込者数：111 人／4 日間欠席：8 人／途中欠席：11 人）

【研修内容】

◎10/11（火）【会場：ぱ・る・るプラザ京都 5F・会議室 A・大】

- ・受付（12:00～13:00）
- ・オリエンテーション（13:00～13:20）
- ・開講式（13:20～13:35）
- ・【カリキュラム 1】（13:35～17:10）
「人権啓発研修等でのワークショップの意義と危険性参加型の手法の必要性和留意点、そして可能性」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表、和光大学非常勤講師、東京家政大学非常勤講師、埼玉大学非常勤講師）

◎10/12（水）【会場：ぱ・る・るプラザ京都 4F・研修室 3 大】

- ・【カリキュラム 2】（9:20～10:50）
「今後の人権教育・啓発の在り方について」
福田 弘（筑波大学人間総合科学研究科教授）
- ・【地方自治体の啓発事例発表①】（11:10～12:30）
「啓発教材 CD-ROM『つながっている世界』の制作について」
（和歌山県）財団法人和歌山県人権啓発センター啓発課
- ・【カリキュラム 3】（13:40～15:10）
「ハンセン病問題検証会議「最終報告書」を提出して」
内田 博文（九州大学大学院法学研究院教授、人権擁護委員、ハンセン病問題検証会議副座長）
- ・【カリキュラム 4】（15:30～17:00）
「これからの人権行政 ―同和問題を発展的に考える―」
稲積 謙次郎（ジャーナリスト、元総務庁地域改善対策協議会委員、福岡県人権施策推進懇話会会長、テレビ西日本客員解説委員）

◎10/13（木）【会場：ぱ・る・るプラザ京都 4F・研修室 3 大】

- ・【カリキュラム 5】（9:20～10:50）
「アイヌの人びとと人権」
榎森 進（東北学院大学文学部歴史学科教授）
- ・【カリキュラム 6】（11:10～12:40）
「女性と人権」
番 敦子（弁護士）
- ・【カリキュラム 7】（13:40～15:10）
「『痴呆』から『認知症』へ」
井部 俊子（看護師、聖路加看護大学学長、「痴呆」に替わる用語に関する検討会委員）
- ・【地方自治体の啓発事例発表②】（15:30～16:50）
「『人権啓発キャラクターいじめ・差別・偏見・なくし隊ジンケンジャー』による人権啓発について」
宮崎県地域生活部人権同和対策課

◎10/14（金）【会場：ぱ・る・るプラザ京都 5F・会議室 A・大】

- ・【カリキュラム 8】（9:20～10:50）
「人権啓発の効果的な方法」
若林 源基（株式会社電通コーポレート計画局 CSR 室人権啓発部長）
- ・【カリキュラム 9】（11:10～12:40）
「自分らしい性を生きる～性同一性障害の体験を中心に～」
上川 あや（世田谷区議会議員）
- ・班別意見交換（13:40～15:20）
- ・閉講式（15:20～15:35）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2004（平成 16）年 9 月 7 日（火）～9 月 10 日（金）

【会場】アイビーホール青学会館・3 F「ナルド」（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】74 人（事前申込者数：79 人／4 日間欠席：5 人／途中欠席：7 人）

【研修内容】

◎9/7（火）

- ・受付（12:20～13:20）
- ・オリエンテーション（13:20～13:40）
- ・開講式（13:40～13:55）
- ・【カリキュラム 1】（13:55～17:20）
「人権啓発研修等でのワークショップの意義と危険性 参加型の手法の必要性和留意点、そして可能性」
桜井 高志（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

◎9/8（水）

- ・【カリキュラム 2】（9:10～10:45）
「ハンセン病と人権 ―熊本地裁判決と療養所将来構想」
井上 英夫（金沢大学法学部法政学科共生社会論大講座福祉政策論担当教授、ハンセン病問題に関する検討会委員長）
- ・【カリキュラム 3】（11:05～12:40）
「国際社会と女性の人権 ―日本に生かそう女性差別撤廃条約―」
川真田 嘉壽子（立正大学法学部助教授）
- ・【カリキュラム 4】（13:50～15:25）
「高齢者の人権 ―高齢者虐待―」
田中 荘司（日本大学文理学部社会学科教授、財団法人社会福祉研究所理事、日本高齢者虐待防止センター代表、日本高齢者虐待防止学会理事長）
- ・【カリキュラム 5】（15:45～17:20）
「国際的な人権状況」
横田 洋三（中央大学法科大学院教授、国連人権促進保護小委員会委員、国連大学学長特別顧問、国際労働機関（ILO）条約勧告適用専門家委員会委員）

◎9/9（木）

- ・【カリキュラム 6】（9:10～10:45）
「自分らしい性を生きる ～性同一性障害の体験を中心に～」
上川 あや（世田谷区議会議員）
- ・【カリキュラム 7】（11:05～12:40）
「わかりやすい説明」
佐々木 端（財団法人NHK放送研修センター日本語センター企業研修部長）
- ・【カリキュラム 8】（13:50～15:25）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・【カリキュラム 9】（15:45～17:20）
「文化変容に映るアイヌ民族の命運」
谷本 一之（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構理事長、北海道立北方民族博物館長、北海道文化審議会会長）

◎9/10（金）

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:50）
「人権に配慮したインターネットの活用」
岡山県人権教育推進マトリックス会議（岡山県教育庁人権教育推進室人権・同和教育課）
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:10～12:30）
「高知県こども条例」
高知県教育委員会こども課
- ・班別意見交換（13:40～15:10）
- ・閉講式（15:10～15:25）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2004（平成16）年10月12日（火）～10月15日（金）

【会場】ぱ・る・るプラザ京都 5F 会議室A （京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676-13）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】115人（事前申込者数：126人／4日間欠席：11人／途中欠席：13人）

【研修内容】

◎10/12（火）

- ・受付（12:20～13:20）
- ・オリエンテーション（13:20～13:40）
- ・開講式（13:40～13:55）
- ・【カリキュラム1】（13:55～17:20）
「人権啓発研修等でのワークショップの必要性和危険性」
廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）

◎10/13（水）

- ・【カリキュラム2】（9:10～10:45）
「わかりやすい説明」
佐々木 端（財団法人NHK放送研修センター日本語センター企業研修部長）
- ・【カリキュラム3】（11:05～12:40）
「国際的視点から見た人権」
宮崎 繁樹（財団法人人権教育啓発推進センター理事長、明治大学名誉教授、元人権擁護推進審議会委員）
- ・【カリキュラム4】（13:50～15:25）
「刑務所出所者と人権」
辰野 文理（国士舘大学法学部助教授）
- ・【カリキュラム5】（15:45～17:20）
「多文化共生社会と外国人の人権—日本語学習支援の立場から」
長澤 成次（千葉大学教育学部教授）

◎10/14（木）

- ・【カリキュラム6】（9:10～10:45）
「子どもと人権 —子ども虐待の現状と課題—」
澁谷 昌史（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部研究員）
- ・【カリキュラム7】（11:05～12:40）
「人権教育・啓発の課題」
灘本 昌久（京都産業大学文化学部教授）
- ・【カリキュラム8】（13:50～15:25）
「ユニバーサルデザインと人権」
鴨志田 厚子（財団法人共用品推進機構理事長、デザイナー、鴨志田デザイン事務所代表、静岡文化芸術大学デザイン学部客員教授）
- ・【カリキュラム9】（15:45～17:20）
「インターネット社会と人権」
高木 寛（株式会社インターネットプライバシー研究所代表）

◎10/15（金）

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:50）
「兵庫県における多文化共生教育の取組について」
兵庫県教育委員会事務局人権教育課
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:10～12:30）
「岡山県の人権啓発マトリックス」
岡山県産業労働部人権施策推進室人権・同和対策課
- ・班別意見交換（13:40～15:10）
- ・閉講式（15:10～15:25）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2003（平成 15）年 9 月 9 日（火）～9 月 12 日（金）

【会場】アイビーホール青学会館・3F「ナルド」（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】92 人

【研修内容】

◎9/9（火）

- ・受付（12:30～13:30）
- ・オリエンテーション（13:30～13:50）
- ・開講式（13:50～14:05）
- ・ワークショップ（14:05～17:00）
「ひと味ちがう人権ワークショップ」
山中 千枝子（（高知県）越知町立野老山小学校長／高知ワークショップをつくる会代表／元高知県人権啓発センター次長）
前田 一郎（長崎県立世知原少年自然の家技師／社会教育主事／高知ワークショップをつくる会）

◎9/10（水）

- ・講義 1（9:30～10:55）
「わかりやすい説明」
大沢 肇（財団法人NHK放送研修センター 日本語センター 副センター長）
- ・講義 2（11:15～12:40）
「人権の国際化と日本の人権」
荒牧 重人（山梨学院大学法学部教授）
- ・講義 3（13:50～15:15）
「インターネットと人権」
濱田 純一（東京大学大学院情報学環教授）
- ・講義 4（15:35～17:00）
「子どもと人権～子ども虐待の現状と課題」
澁谷 昌史（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部研究員）

◎9/11（木）

- ・講義 5（9:30～10:55）
「女性と人権」
江原 由美子（東京都立大学人文学部社会学科教授）
- ・講義 6（11:15～12:40）
「外国人と人権」
川村 千鶴子（大東文化大学環境創造学部助教授多文化教育研究所所長）
- ・講義 7（13:50～15:15）
「障害者と人権 ―障害学の立場から」
石川 准（静岡県立大学国際関係学部教授）
- ・講義 8（15:35～17:00）
「これからの同和問題」
灘本 昌久（京都産業大学一般教育研究センター助教授）

◎9/12（金）

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:40）
「人権フェスタ 2002 みやざき（平成 14 年度人権啓発フェスティバル宮崎会場）」
宮崎県生活環境部同和対策課
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:00～12:10）
「川崎市子どもの権利に関する条例」
川崎市市民局人権・男女共同参画室子どもの権利担当
- ・班別意見交換（13:20～14:40）
- ・閉講式（14:40～14:55）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2003（平成 15）年 10 月 14 日（火）～10 月 17 日（金）

【会場】ぱ・る・るプラザ京都 5F 会議室 A（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】103 人

【研修内容】

◎10/14（火）

- ・受付（12:30～13:30）
- ・オリエンテーション（13:30～13:50）
- ・開講式（13:50～14:05）
- ・ワークショップ（14:05～17:00）
 - 「ひと味ちがう人権ワークショップ」
 - 山中 千枝子（（高知県）越知町立野老山小学校長／高知ワークショップをつくる会代表／元高知県人権啓発センター次長）
 - 前田 一郎（長崎県立世知原少年自然の家技師／社会教育主事／高知ワークショップをつくる会）

◎10/15（水）

- ・講義 1（9:30～10:55）
 - 「わかりやすい説明」
 - 大沢 肇（財団法人NHK放送研修センター 日本語センター 副センター長）
- ・講義 2（11:15～12:40）
 - 「輝く生命 ～AIDSを通して人権と共生を考える」
 - 五島 真理為（特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター理事長）
- ・講義 3（13:50～15:15）
 - 「身近なことば・表現から人権感覚を育てる」
 - 和田 若人（和田企画代表／元福島大学経済学部教授／元株式会社電通人権教育室長）
- ・講義 4（15:35～17:00）
 - 「人権感覚・人権意識の意義と助長法」
 - 福田 弘（筑波大学教育学系教授）

◎10/16（木）

- ・講義 5（9:30～10:55）
 - 「犯罪被害者の人権とその救済のあり方」
 - 大谷 實（学校法人同志社総長／京都犯罪被害者支援センター理事長／元人権擁護推進審議会委員）
- ・講義 6（11:15～12:40）
 - 「新しい視点から同和問題を考える」
 - 石元 清英（関西大学社会学部教授）
- ・講義 7（13:50～15:15）
 - 「日本は単一民族の国家か—アイヌ文化振興法の意義を考える—」
 - 佐々木 高明（前アイヌ文化振興研究推進機構理事長／国立民族学博物館名誉教授）
- ・講義 8（15:35～17:00）
 - 「高齢者の人権と高齢化国際行動計画 2002」
 - 井上 英夫（金沢大学法学部公共政策大講座福祉政策論担当教授）

◎10/17（金）

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:40）
 - 「ボクらに会いに『にじまる』クンがやってきた。」
 - 人権啓発キャラバン 人権啓発号「にじまる」クンが行く、人権ハート回収大作戦！
 - 新潟県福祉保健部福祉保健課人権啓発室
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:00～12:10）
 - 「川西市子どもの人権オンブズパーソン条例」
 - 川西市生活・人権部人権推進室
- ・班別意見交換（13:20～14:40）
- ・閉講式（14:40～14:55）

※敬称略

※肩書きは開催当時のもの

【期間】2002（平成14）年9月10日（火）～9月13日（金）

【会場】①アイビーホール青学会館（東京都渋谷区渋谷4-4-25）
②UNハウス（国際連合大学ビル）3F／ウ・タント国際会議場（東京都渋谷区神宮前5-53-70）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】80人

【研修内容】

◎9/10（火）【会場：アイビーホール青学会館・3F／ナルド】
・受付（12:30～13:30）
・オリエンテーション（13:30～13:50）
・開講式（13:50～14:05）
・ワークショップ（14:05～17:00）
「ワークショップは技より心」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所代表取締役所長；高知短期大学専攻科講師）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）

◎9/11（水）【会場：UNハウス・3F／ウ・タント国際会議場】
・講義1（9:30～10:55）
「アイヌ民族と共に生きる」
田中 光一（(財)アイヌ文化振興・研究推進機構；アイヌ文化交流センター所長）
・講義2（11:15～12:40）
「外国人の法廷における人権」
長尾 ひろみ（日本司法通訳人協会会長；元聖和大学人文学部助教授）
・講義3（13:50～15:15）
「国家行政の基本『人権』」
安藤 仁介（同志社大学法学部教授；京都大学名誉教授；国連人権規約委員）
・講義4（15:35～17:00）
「女性と人権」
堀内 光子（国際労働機関（ILO）ジェンダー特別アドバイザー・駐日代表）

◎9/12（木）【会場：UNハウス・3F／ウ・タント国際会議場】
・講義5（9:30～10:55）
「障害者の人権：障害学の視点から」
長瀬 修（東京大学先端科学技術研究センター パリアフリープロジェクト特任助教授）
・講義6（11:15～12:40）
「広報活動と話題創り」
吉川 貴志（株）電通パブリックリレーションズ プロデューサー
・講義7（13:50～15:15）
「新しい視点から同和問題を考える」
石元 清英（関西大学社会学部教授）
・講義8（15:35～17:00）
「AIDSを通して人権と共生を考える」
五島 真理為（特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター理事長）

◎9/13（金）【会場：アイビーホール青学会館・2F／ミルトス】
・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:40）
「熊本県子ども人権フェスティバル」
熊本県教育庁人権同和教育課
・地方自治体の啓発事例発表②（11:00～12:10）
「人権啓発イベント ヒューマンコミュニケーション事業」
高知市市民生活部人権啓発課
・班別意見交換（13:20～14:40）
・閉講式（14:40～14:55）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2002（平成 14）年 11 月 26 日（火）～11 月 29 日（金）

【会場】ぱ・る・るプラザ京都 4 F 研修室 3（大）（京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13）

【主催】法務省人権擁護局、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】105人

【研修内容】

◎11/26（火）

- ・受付（12:30～13:30）
- ・オリエンテーション（13:30～13:50）
- ・開講式（13:50～14:05）
- ・ワークショップ（14:05～17:00）
「ワークショップは技より心」
畠中 洋行（株式会社若竹まちづくり研究所代表取締役所長；高知短期大学専攻科講師）
畠中 智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越 令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）

◎11/27（水）

- ・講義 1（9:30～10:55）
「犯罪被害者と人権」
三木 善彦（大阪大学大学院人間科学研究科教授；全国被害者支援ネットワーク理事）
- ・講義 2（11:15～12:40）
「人権啓発の効果的な方法について ―ある企業での取り組みを例に―」
若林 源基（(株)電通人事局ヒューマンリレーション部人権啓発担当部長；東京人権啓発企業連絡会啓発委員）
- ・講義 3（13:50～15:15）
「ハンセン病・精神障害と人権」
大谷 藤郎（国際医療福祉大学総長；(財)藤楓協会理事長）
- ・講義 4（15:35～17:00）
「インターネットと人権 ―個人情報保護の制度化とも関連して―」
堀部 政男（中央大学法学部教授）

◎11/28（木）

- ・講義 5（9:30～10:55）
「これからの同和問題」
灘本 昌久（京都産業大学一般教育研究センター助教授）
- ・講義 6（11:15～12:40）
「障害者と人権」
立岩 真也（立命館大学政策科学部助教授）
- ・講義 7（13:50～15:15）
「子どもと人権」（仮）
喜多 明人（早稲田大学文学部教授；子どもの権利条約総合研究所代表）
- ・講義 8（15:35～17:00）
「国際人権法からみた日本の人権」
荒牧 重人（山梨学院大学法学部教授）

◎11/29（金）

- ・地方自治体の啓発事例発表①（9:30～10:40）
「人権尊重の視点チェックポイント（イベント編）」
滋賀県企画県民部人権施策推進課
- ・地方自治体の啓発事例発表②（11:00～12:10）
「住民と行政のパートナーシップ型」啓発事業の模索について（人とまち、いい関係をつくりたい～市民講座）
（広島県）因島市人権推進課
- ・班別意見交換（13:20～14:40）
- ・閉講式（14:40～14:55）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2001（平成 13）年 10 月 2 日（火）～10 月 5 日（金）

【会場】水月ホテル鷗外荘（東京都台東区池之端 3 丁目 3-21）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務省大臣官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】44 人

【研修内容】

◎10/2（火）

- ・受付（12:30～13:30）
- ・オリエンテーション（13:30～13:50）
- ・開講式（13:50～14:05）
- ・講義 1（14:05～15:25）
「国際社会から見た日本の人権」
横田洋三（中央大学法学部教授／国連大学学長特別顧問／国連人権促進保護小委員会委員）
- ・講義 2（15:40～17:00）
「ハンセン病と人権」
大谷藤郎（（財）藤楓協会理事長／国際医療福祉大学学長）

◎10/3（水）

- ・講義 3（9:30～10:50）
「子どもの権利保障と自治体」
荒牧重人（山梨学院大学法学部教授／情報資料センター「子どもの権利条約ネットワーク」事務局長）
- ・講義 4（11:10～12:30）
「文明の対話と多民族の共存」
山内昌之（東京大学大学院総合文化研究科教授）
- ・講義・実践プログラム（13:30～17:00）
「ワークショップ」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）

◎10/4（木）

- ・講義 5（9:30～10:50）
「歴史的転換点に立つ人権・同和行政」
稲積謙次郎（西日本新聞社顧問／（株）西広代表取締役社長）
- ・講義 6（11:10～12:30）
「広報活動と話題創り」
吉川貴志（株式会社電通パブリックリレーションズプロデューサー）
- ・班別討議（13:30～17:00）

◎10/5（金）

- ・講演（9:30～10:30）
「ソニーの人権啓発活動」
吉原正宣（ソニー株式会社人権啓発推進室統括部長）
- ・班別発表 1（10:50～12:10）
- ・班別発表 2（13:10～14:30）
- ・閉講式（14:30～14:45）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2001（平成13）年11月27日（火）～11月30日（金）

【会場】ホテル京阪京橋（大阪府大阪市都島区）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務省大臣官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】108人

【研修内容】

◎11/27（火）

- ・受付（12:30～13:30）
- ・オリエンテーション（13:30～13:50）
- ・開講式（13:50～14:05）
- ・講義1（14:05～15:25）
「国際人権保障と日本—国連人権規約委員会および人権擁護推進審議会委員としての経験から—」
安藤仁介（同志社大学法学部教授／国連人権規約委員）
- ・講義2（15:40～17:00）
「高齢者の人権を考える—喜楽苑4苑のノーマリゼーションのとりくみをととして—」
市川禮子（高齢者福祉施設けま喜楽苑施設長）

◎11/28（水）

- ・講義3（9:30～10:50）
「同和問題を考える」
石元清英（関西大学社会学部社会学科教授）
- ・講義4（11:10～12:30）
「広報活動と話題創り」
吉川 貴志（株式会社電通パブリックリレーションズ・プロデューサー）
- ・講義・実践プログラム（13:30～17:00）
「ワークショップ」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）

◎11/29（木）

- ・講義5（9:30～10:50）
「在日外国人の人権問題—今と昔、内と外の視点から—」
田中宏（龍谷大学経済学部経済学研究科教授）
- ・講義6（11:10～12:30）
「21世紀の最重要課題：男女共同参画社会の実現」
山下泰子（文京女子大学経営学部教授／国際女性の地位協会常務理事）
- ・班別討議（13:30～17:00）

◎11/30（金）

- ・講演（9:30～10:30）
「ソニーの人権啓発活動」
吉原正宣（ソニー株式会社人権啓発推進室統括部長）
- ・班別発表1（10:50～12:10）
- ・班別発表2（13:10～14:30）
- ・閉講式（14:30～14:45）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2000（平成12）年9月26日（火）～9月29日（金）

【会場】ホテル京阪京橋（大阪府大阪市都島区東野田町2-1-38）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務庁長官官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】89人

【研修内容】

◎9/26（火）

- ・受付（12:30～13:35）
- ・オリエンテーション（13:30～13:45）
- ・開講式（13:50～14:00）
- ・講義1（14:00～15:20）
「世界の人権動向と日本の人権」
横田洋三（東京大学法学部教授）
- ・講義2（15:35～17:00）
「歴史の転換期に立つ人権行政」
稲積謙次郎（西日本新聞社顧問）

◎9/27（水）

- ・講義3（9:00～10:25）
「多角的に「人間」を考える」
新森保紀（（有）クリエイティブ・マネジメント研究所代表）
- ・講義4（10:40～11:20）
「障害者福祉の特質と理念」
板山賢治（（財）日本障害者リハビリテーション協会副会長）
- ・講義・実践プログラム（9:00～12:00）
「ワークショップ」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）

◎9/28（木）

- ・班別討議（9:00～12:00）
- ・班別発表（13:00～16:30）

◎9/29（金）

- ・講義5（9:00～10:25）
「広報活動と話題創り」
吉川貴志（（株）電通パブリックリレーションズ プロデューサー）
- ・講義6（10:40～12:00）
「高齢者の人権を考える」
市川禮子（高齢者福祉施設あしや喜楽苑総施設長）
- ・閉講式（12:00～12:15）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】2000（平成 12）年 11 月 14 日（火）～11 月 17 日（金）

【会場】九段会館（東京都千代田区九段南一丁目 6 番 5 号）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務省長官官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】63 人

【研修内容】

◎11/14（火）

- ・ 受付（12:30～13:35）
- ・ オリエンテーション（13:30～13:45）
- ・ 開講式（13:35～13:50）
- ・ 講義 1（13:50～14:00）
「人権の今を考える」
野田幸雄（日本経済新聞社法務室長）
- ・ 講義 2（15:35～17:00）
「外国人が日本国内に多数居住する 21 世紀を考える」
手塚和彰（千葉大学法経学部教授）

◎11/15（水）

- ・ 講義 3（9:00～10:25）
「人権をゆたかに―女性差別をめぐって」
増田れい子（ジャーナリスト／エッセイスト）
- ・ 講義 4（10:40～11:20）
「広報活動と話題創り」
吉川貴志（（株）電通パブリックリレーションズプロデューサー）
- ・ 講義 5（13:00～14:30）
「心の解放術」
妹尾映美子（手話コーディネーター／タレント）
- ・ 講義 6（14:45～16:15）
「同和問題の基本的認識」
山本登（大阪市立大学名誉教授）

◎11/16（木）

- ・ 講義・実践プログラム（9:00～12:00）
「ワークショップ」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
- ・ 班別討議（13:00～17:00）

◎11/17（金）

- ・ 班別発表 1（9:00～10:25）
- ・ 班別発表 2（10:35～12:00）
- ・ 閉講式（12:00～12:15）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】1999（平成 11）年 9 月 28 日（火）～10 月 1 日（金）

【会場】大月ホテル（静岡県熱海市東海岸町 3-19）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務庁長官官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の中堅職員

【受講者数】122 人

【研修内容】

◎9/28（火）

- ・受付（12:30～13:35）
- ・オリエンテーション（13:35～13:50）
- ・開講式（13:50～14:00）
- ・講義 1（14:00～15:20）
「人権の世紀へ、問い直される行政」
稲積謙次郎（西日本新聞社顧問）
- ・講義 2（15:35～17:00）
「国際人権保障について」
宮崎繁樹（（財）人権教育啓発推進センター理事長）

◎9/29（水）

- ・講義 3（9:00～10:25）
「高齢者の人権を考える」
市川禮子（高齢者総合福祉施設あしや喜楽苑総施設長）
- ・講義 4（10:40～12:00）
「広報活動と話題創り」
吉川貴志（電通パブリックリレーションズ）
- ・講義 5（13:00～14:30）
「男女共同参画社会への課題」
原 ひろ子（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター長・教授）
- ・講義 6（14:45～16:15）
「新しい視点で「人間」を考える」
新森保紀（（有）クリエイティブ・マネジメント）

◎9/30（木）

- ・講義・実践プログラム（9:00～12:00）
「ワークショップ」
畠中洋行（株式会社若竹まちづくり研究所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会代表）
中越令子（株式会社若竹まちづくり研究所研究員）
- ・班別討議（13:00～17:00）

◎10/1（金）

- ・班別発表（9:00～12:00）
- ・講評（12:00～12:10）
- ・閉講式（12:10～12:20）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】1998（平成 10）年 10 月 19 日（月）～10 月 23 日（金）

【会場】箱根小涌園（神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平 1297）

【主催】法務省人権擁護局、（財）人権教育啓発推進センター

【後援】総務庁長官官房地域改善対策室、全日本同和対策協議会

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の中堅職員

【受講者数】102 人

【研修内容】

◎10/19（月）

- ・ 受付（13:00～14:00）
- ・ オリエンテーション（14:00～14:10）
- ・ 開講式（14:10～14:20）
- ・ 講和（14:20～15:15）
横山匡輝（法務省人権擁護局長）
- ・ 講義 1（15:30～17:00）
「国際人権保障について」
宮崎繁樹（（財）人権教育啓発推進センター）

◎10/20（火）

- ・ 講義 2（9:30～10:55）
「同和問題の早期解決に向けて～「人権教育のための国連 10 年」行動計画をふまえて～」
竹村 毅（（財）婦人少年協会専務理事）
- ・ 講義 3（11:10～12:30）
「子どもの人権」
平 清太郎（人権擁護委員）
- ・ ワークショップ（13:30～15:00）
畠中洋行（（株）若竹まちづくり研究所所長）
畠中智子（高知のまちづくりを考える会）
中越令子（（株）若竹まちづくり研究所研究員）

◎10/21（水）

- ・ 講義 4（9:30～10:55）
「在日外国人とのかかわり」
手塚和彰（千葉大学法経学部教授）
- ・ 講義 5（11:10～12:30）
「高齢者の人権を考える～三つの喜楽苑の取り組みから」
市川禮子（高齢者総合福祉施設あしや喜楽苑総施設長）
- ・ 班別討議（13:30～16:00）
- ・ 班別討議とりまとめ文書作成（16:00～17:00）

◎10/22（木）

- ・ 講義 6（9:30～10:55）
「効果的な人権啓発の在り方について～北九州市の啓発活動について～」
大川博己（北九州市保健福祉局同和対策部啓発課啓発係長）
- ・ 講義 7（11:10～12:30）
「障害者福祉の特質と理念」
板山賢治（財団法人日本障害者リハビリテーション協会副会長）
- ・ 班別討議発表（13:30～17:00）

◎10/23（金）

- ・ 講義 8（9:30～10:55）
「男女共同参画社会を考える」
島野穹子（つくば国際大学産業社会学部教授）
- ・ 意見交換会（11:05～11:55）
- ・ 閉講式（11:55～12:05）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

【期間】1997（平成9）年10月21日（火）～10月24日（金）

【会場】熱海市観光会館（静岡県熱海市中央町1-1）

【主催】総務庁長官官房地域改善対策室、法務省人権擁護局、文部省、全日本同和対策協議会、（財）人権教育啓発推進センター

【対象者】都道府県及び市区町村の人権啓発担当部局の職員

【受講者数】107人

【研修内容】

◎10/21（火）

- ・受付（12:20～12:50）
- ・オリエンテーション（12:50～13:05）
- ・開講式（13:05～13:15）
- ・行政説明（13:15～15:00）
 - 「人権擁護行政と今後の課題」
醍醐 隆（法務省人権擁護局人権啓発課長）
 - 「地域改善行政と今後の課題」
平井 全（総務庁長官官房地域改善対策室室長）
 - 「文部省行政説明」
徳重眞光（文部省初等中等教育局小学校課長）
- ・講義1（15:15～16:45）
 - 「人権教育のための国連10年について」
宮崎繁樹（（財）人権教育啓発推進センター）

◎10/22（水）

- ・講義2（9:00～10:25）
 - 「男女共同参画型社会を考える」
有馬真喜子（（財）横浜市女性協会理事長）
- ・講義3（10:35～12:00）
 - 「今後の教育・啓発の在り方について」
田村正男（ジャーナリスト）
- ・ワークショップ（セッション1）（13:10～15:00）
 - 「流れのあるプログラム体験 part 1」
- ・ワークショップ（セッション2）（15:15～17:00）
 - 「流れのあるプログラム体験 part 2」
角田尚子（国際理解教育センター）
田中幸子（国際理解教育センター）
金光律子（国際理解教育センター）

◎10/23（木）

- ・ワークショップ（セッション3）（9:00～11:05）
 - 「流れのあるプログラム体験 part 3」
- ・ワークショップ（セッション4）（11:20～12:00）
 - 「全体研修—まとめと班別討議への動機づけ」
角田尚子（国際理解教育センター）
田中幸子（国際理解教育センター）
金光律子（国際理解教育センター）
- ・班別討議（13:00～15:00）
- ・班別討議とりまとめ文書作成（15:15～17:00）

10/24（金）

- ・班別討議発表（9:00～10:25）
- ・講義4（12:05～13:25）
 - 「子どもの人権と国際的動向～子どもの権利条約の意義に触れて」
喜多明人（早稲田大学教授）
- ・質疑応答（13:25～13:35）
- ・閉講式（13:35～13:45）

※敬称略

※肩書きは当時のもの

平成9年度人権啓発上級指導者養成研修会

【期間】1998(平成10)年2月16日(月)～2月20日(金)

【会場】新霞ヶ関ビル5階 第1会議室(千代田区霞が関3丁目3番2号)

【主催】法務省人権擁護局、総務庁長官官房地域改善対策室、文部省初等中等教育局、文部省生涯学習局、全日本同和対策協議会、(財)人権教育啓発推進センター

【対象者】①法務局・地方法務局人権擁護事務担当職員

②都道府県及び市区町村の人権擁護主管部局の中堅職員で、以下の条件の何れかを満たす者

ア 法務省主催人権教育・啓発指導者養成研修会修了者

イ 総務庁主催人権・同和に関する指導者養成研修会修了者

ウ 上記ア、イの研修会と同程度の研修会修了者

エ 人権啓発担当部局の経験年数が3年以上の者

【受講者数】59人

【研修内容】

◎2/16(月)

・受付(12:10～13:00) / オリエンテーション・開講式(13:00～13:10) [会場:新霞が関ビル・5F・第1会議室]

・講演1(13:10～14:20)

「同和問題の基本的認識」

山本 登(大阪市立大学名誉教授)

・講演2(14:30～15:40)

「女性の権利は人権」

芦野 由利子(社団法人日本家族計画連盟事務局次長)

・講演3(15:50～17:00)

「いま、子どもたちは」

東野 英心(俳優)

◎2/17(火)

・オリエンテーション(9:30～9:35) [会場:新霞が関ビル・5F・第1会議室]

・講演4(9:35～10:45)

「国際人権」

波多野 里望(学習院大学教授)

・講演5(10:55～12:05)

「障害を持つ人々の人権について」

丸山 一郎(日本障害者リハビリテーション協会国際部長)

・ワークショップ(13:05～17:00)

「ワークショップ(講義・実践)」

畠中 洋行((株)若竹まちづくり研究所長) / 畠中 智子(高知のまちづくりを考える会代表)

◎2/18(水)

・オリエンテーション(9:55～10:00) [会場:新霞が関ビル・5F・第1会議室]

・講演6(10:00～11:30)

「人権をゆたかに 女性差別をめぐって」

増田 れい子(ジャーナリスト、エッセイスト)

・啓発映画「誇り高き男」上映会(13:00～14:00) [会場:サンケイホール]

・人権文化フォーラム(14:00～17:00)コロキウム「世界人権宣言50周年を迎えて—人権教育のための国連10年を推進するために—」

荒木 三紀子(弁護士、人権擁護委員) / 田中 正人(読売新聞社解説部次長) / 宮崎 繁樹((財)人権教育啓発推進センター理事長)

山下 泰子(文京女子大学教授) / 横田 洋三(東京大学法学部教授)

◎2/19(木)

・オリエンテーション(9:30～9:35) [会場:新霞が関ビル・5F・第1会議室(全社協・灘尾ホール)]

・講演7(9:35～10:45)

「高齢者の人権擁護とは—喜楽苑の取り組みから—」

市川 禮子(高齢者総合福祉施設あしや喜楽苑総施設長)

・講演8(10:55～12:05)

「マスコミの人権感覚」

江森 陽弘(ジャーナリスト、テレビキャスター)

・フィールドワーク(視察見学) 「江戸東京博物館」 「東京ウィメンズプラザ東京女性財団」 (13:05～17:00)

◎2/20(金)

・オリエンテーション(9:30～9:35) [会場:法務省・B1F・大会議室]

・グループ内意見交換会(9:35～10:45) / 局幹部との意見交換会(10:55～11:25) / 閉講式(11:25～11:35)

※敬称略 ※肩書きは当時のもの